

ネットワークカメラ

ユーザーマニュアル

カメラを操作する前に本ユーザーマニュアルをよくお読みください。

安全上のご注意

以下の記号または単語はこのマニュアルで表示されますのでご確認ください。

記号/単語	説明
△警告	中程度または低レベルの潜在的な危険な状況を示します。これを回避しない場合、軽度から中程度のけがを負う可能性があります。
△注意	潜在的なリスクを示します。これを回避しない場合、機器の損傷、データの損失、パフォーマンスの低下、または予期しない結果を招く可能性があります。
📄メモ	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。

マニュアルについて

- 本マニュアルは複数のモデルに対応しています。本マニュアルに使用されているすべての例、スクリーンショット、図、チャート、イラストなどは参考用であり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 機器を正しくかつ安全にご使用いただくために、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。
- 法律で認められる最大限の範囲において、本マニュアルで説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアなどを含む）は、「現状のまま」提供されます。

本書に記載されている情報（URL や他のインターネットサイトの参照データを含む）は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルには、技術的な誤りや印刷ミスが含まれている可能性があります。これらの情報は定期的に更新され、変更内容は最新版のマニュアルに反映されますが、事前の通知は行われません。

製品の使用

- この製品は違法な目的には使用しないでください。
- 当社は、当社の製品を用いて他人のプライバシー、個人情報、肖像権を侵害することは一切認めません。ユーザーは、本製品を違法な用途、または本規約および宣言に違反する用途に使用してはなりません。本製品の使用に際し、ユーザーは、本製品のハードウェアを損傷、無効化、過負荷、または妨害したり、他のユーザーによる本製品の使用を妨害したりしてはなりません。また、ハッキング、パスワードの窃取、その他の手段により、本製品またはソフトウェアを使用しようと試みてはなりません。

電気安全

- この製品は、「Limited Power Source」、「LPS」のマークが付いている電源装置から電源供給を受けるように設計されています。出力定格が最低12V/2Aまたは POE 48V/350mAまたはAC24V(モデルによって異なります)、動作高度が 2000メートル以下、Tma=60度である。
- 不適切な取り扱いや取り付けは、火災や感電の危険性があります。
- 感電の危険を減らすために、製品を接地する必要があります。
- **△ 警告:**カメラのカバーを取り外す前に、静電気防止手袋を着用するか、静電気を放電してください。
- **△ 注意:** 特に指定がない限り、デバイスに同時に2つの電源を供給しないでください。デバイスが壊れる可能性があります。

環境

- 輸送、保管、設置の際に、強い衝撃、激しい振動、水への曝露は避けてください。
- カメラを太陽などの非常に明るい物体に直接向けないでください。イメージセンサーが損傷する可能性があります。
- ラジエーター、暖房器具、ストーブなどの熱源の近くには置かないでください。
- エアコンの風が直接当たる場所には設置しないでください。

- 湿気が多い場所、ほこりの多い場所、極端に高温または低温の場所、強い電磁波が発生する場所、不安定な照明の場所への設置は避けてください。
- カメラレンズの近くに反射面（光沢のある床、鏡、ガラス、湖面など）がないようにしてください。

運用と日常メンテナンス

- 本製品にはユーザーが修理できる部品は含まれていません。正常に動作しない場合は、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- メンテナンス作業を行う前に、必ず本機をシャットダウンし、電源ケーブルを抜いてください。
- △ 警告：すべての点検および修理作業は、資格を持つ専門技術者が行ってください。
- CMOS センサーの光学部品には触れないでください。レンズ表面のほこりは、ブロワーでやさしく吹き飛ばしてください。
- 常に乾いた柔らかい布で本機を清掃してください。ほこりが多い場合に布で拭くと、赤外線機能の低下や赤外線の反射が発生する可能性があります。
- ドームカバーは光学部品です。設置や使用時にカバー表面に直接触れたり拭いたりしないでください。ほこりが付着している場合は、油分を含まない柔らかいブラシまたはヘアドライヤーでやさしく除去してください。油污れや指紋がある場合は、油分を含まない綿布または紙に洗浄液を染み込ませ、レンズの中心から外側に向かって拭き取ってください。汚れが落ちない場合は、布を交換して数回拭いてください。

ホワイトライトイルミネーター（対応モデルのみ）

- カメラを設置またはメンテナンスする際に、ホワイトライトを点灯させないでください。ホワイトライトをテストする場合は、必ず適切な目の保護具を着用してください。
- 点灯中の光源を直視しないでください。目に悪影響を及ぼす可能性があります。

プライバシー保護

- 公共の場所にカメラを設置する場合は、監視範囲を明確にし、適切かつ効果的な方法で注意喚起を行ってください。
- 機器の使用者またはデータ管理者として、他人の個人情報（顔、車のナンバープレートなど）を収集する可能性があります。そのため、他者の正当な権利と利益を保護するために、

アクセス制御の設定、監視区域の存在を知らせる明確で見やすい表示、問い合わせ先の明示など、合理的かつ必要な対策を講じ、情報漏えいや不適切な利用を防止してください。

免責事項

- インターネット接続機能を持つ製品に関しては、ご使用に伴うリスクはすべてご利用者様ご自身の責任となります。当社は、サイバー攻撃、ハッカーによる侵入、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティ上のリスクによって生じる異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について一切の責任を負いかねます。ただし、必要に応じて当社は迅速な技術サポートを提供いたします。
- 監視に関する法律は国や地域によって異なります。本製品を監視目的で使用する前に、必ずお住まいの地域の関連法規を確認してください。違法な使用によって生じたあらゆる結果について、当社は一切の責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用してください。パスワードは最低 8 文字以上で、文字、数字、大文字および小文字の組み合わせを使用することをお勧めします。
- デバイスのパスワードは定期的に変更し、認可されたユーザーのみがシステムにアクセスできるようにしてください（推奨期間は 90 日）。
- サービスのデフォルトポート（HTTP-80、HTTPS-443 など）は変更することをお勧めします。これにより、外部からのアクセスリスクを減少させることができます。
- ルーターのファイアウォールを設定することをお勧めします。ただし、いくつかの重要なポート（HTTP ポート、HTTPS ポート、データポートなど）は閉じないように注意してください。
- デバイスを公開ネットワークに接続することはお勧めしません。公開ネットワークに接続する必要がある場合は、外部のハードウェアファイアウォールと対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- SNMP の v1 および v2 機能は使用しないことをお勧めします。
- WEB クライアントアクセスのセキュリティを強化するために、TLS 証明書を作成して HTTPS を有効にしてください。
- ブラックリストとホワイトリストを使用して IP アドレスをフィルタリングしてください。これにより、指定した IP アドレス以外のアクセスを防ぐことができます。
- 複数のユーザーを追加する場合、ゲストアカウントの機能を制限してください。

- UPnP を有効にすると、ルーターやモデムで自動的にポート転送が試みられます。これは非常に便利ですが、システムが自動でポートを転送することでデータ漏洩のリスクが高まるため、実際に使用しない場合は UPnP を無効にすることをお勧めします。
- ログを確認してください。デバイスが不正なユーザーによってアクセスされたかどうかを確認するには、ログを確認できます。システムログには、どの IP アドレスがシステムにログインしたか、どの情報にアクセスしたかが表示されます。

規制情報

FCC 情報

明示的に承認されていない変更や修正は、機器の使用権を無効にする可能性があることにご注意ください。

FCC 準拠

この機器は、FCC 規則第 15 部に基つき、クラス B デジタル機器の制限に適合することがテストされて確認されています。この制限は、住宅の設置において有害な干渉から合理的な保護を提供することを目的としています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、または放射することがあり、指示に従って設置および使用しない場合、ラジオ通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオまたはテレビ受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器をオン/オフにして確認できる場合）、ユーザーは以下の対策を試みることをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更する。
- 機器と受信機との間の距離を広げる。
- 機器を受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

2. FCC 条件：

- この機器は、FCC 規則第 15 部に適合しています。本製品の操作には、以下の 2 つの条件が適用されます：
 - この機器は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
 - この機器は、受信した干渉をすべて受け入れなければならない、その干渉が原因で望ましくない動作が発生する場合があります。

RoHS



本製品は、EU 指令 2011/65/EU およびその改正指令 2015/863 に従い、電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する規定に基づいて設計および製造されています。

2012/19/EU (WEEE 指令)

廃棄された電気・電子機器（WEEE 指令）の取り扱いに関する指令です。WEEE の環境管理を改善するため、機器の使用終了後の収集、処理、リサイクルの改善が重要です。したがって、このシンボルが付けられた製品は、責任を持って廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC

包装および包装廃棄物の管理と環境保護を目的とした指令です。本マニュアルに記載された製品の包装および包装廃棄物は、指定された収集場所で適切にリサイクルし、環境保護のために廃棄してください。

REACH (EC1907/2006)

REACH は、化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則であり、化学物質の内在的特性をより早期に識別することで、人間の健康と環境の保護を高めることを目的としています。本マニュアルに記載された製品は、REACH の規則に適合しています。REACH の詳細については、DG GROWTH または ECHA のウェブサイトを参照してください。

1	ネットワーク接続	9
1.1	LAN	10
1.1.1	IP ツール経由のアクセス	10
1.1.2	ウェブブラウザ経由で直接アクセス.....	13
1.2	WAN.....	15
2	ライブビュー	18
3	ネットワークカメラの設定	20
3.1	システム構成.....	20
3.1.1	基本情報.....	20
3.1.2	日付と時刻.....	20
3.1.3	ローカル設定.....	21
3.1.4	ストレージ.....	21
3.2	画像設定.....	25
3.2.1	ディスプレイ設定.....	25
3.2.2	ビデオ/オーディオ設定.....	29
3.2.3	OSD 設定.....	31
3.2.4	ビデオマスク.....	32
3.2.5	ROI 設定.....	33
3.2.6	レンズコントロール.....	33
3.2.7	スマート補助ライト.....	34
3.3	アラーム設定.....	35
3.3.1	動き検出.....	35
3.3.2	例外アラーム.....	37
3.3.3	アラームサーバー.....	39
3.3.4	ビデオ例外.....	39
3.4	イベント構成.....	41
3.4.1	放置／持ち去り物体検出.....	41
3.4.2	ラインクロス.....	43
3.4.2	地域侵入.....	49
3.5	ネットワーク構成.....	51
3.5.2	TCP/IP.....	51
3.5.3	ポート.....	53
3.5.4	サーバー設定.....	54
3.5.5	Onvif.....	54
3.5.6	DDNS.....	55

3.5.7	SNMP	56
3.5.8	802.1x	58
3.5.9	RTSP	58
3.5.10	RTMP	60
3.5.11	UPNP	60
3.5.12	メール	60
3.5.13	FTP	61
3.5.14	HTTP ポスト	63
3.5.15	HTTPS	64
3.5.16	P2P	65
3.5.17	QoS	65
3.5.18	クラウドアップグレード	66
3.6	セキュリティ構成	66
3.6.2	ユーザー設定	66
3.6.3	オンラインユーザー	69
3.6.4	ブロックリストと許可リスト	69
3.6.5	セキュリティ管理	69
3.7	メンテナンス設定	71
3.7.2	バックアップと復元	71
3.7.3	レポート	72
3.7.4	アップグレード	72
3.7.5	操作ログ	73
3.7.6	デバッグモード	73
3.7.7	メンテナンス情報	74
検索		74
.....		79
付 録		79
付 録 1. トラブルシューティング		79

1 ネットワーク接続

システム要件

製品を動作させるには、コンピューターが次の仕様を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム: Windows 7 Home Basic 以上

CPU : 2.0GHz 以上

RAM : 1G 以上

ディスプレイ : 1920×1080 以上の解像度 (推奨)

ウェブブラウザ: Chrome89.0+/Edge89.0+/Firefox87.0+/Safari 14.0+

最

新バージョンのウェブブラウザの使用を推奨します。

プラグインを使用したブラウザと使用しないブラウザでは、カメラのメニュー表示や操作が若干異なる場合があります。プラグインをインストールすることで、カメラの機能がさらに表示されます。

IP カメラを LAN または WAN を通じて接続します。

ここでは、プラグインが必要なブラウザを例として説明します。詳細は以下の通りです :

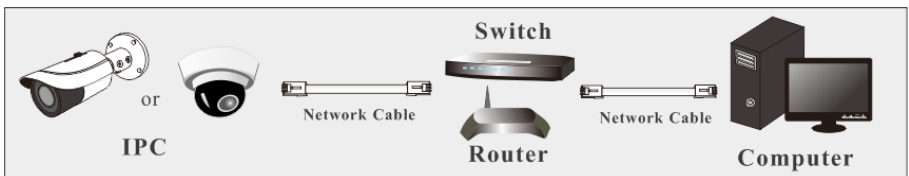
1.1 LAN

LAN では、IP-Cam にアクセスするには 2 つの方法があります :

1. IP ツール経由でアクセスする。2. Web ブラウザー経由で直接アクセスする。

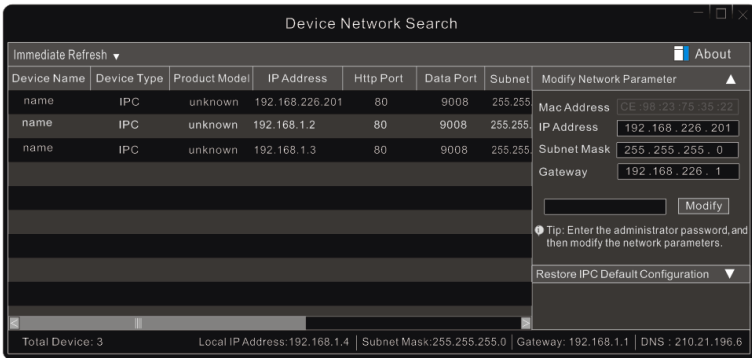
1.1.1 IP ツール経由のアクセス

ネットワーク接続:



① PC と IP-Cam が LAN に接続され、IP-Tool が PC にインストールされていることを確認します。

② デスクトップ上の IP-Tool アイコンをダブルクリックすると下記のような画面が表示されます。



カメラのデフォルトの IP アドレスは **192.168.226.201** .

③ IP アドレスをダブルクリックすると、システムがウェブブラウザを開き、カメラに接続します。プライバシー声明をお読みいただいた後、「既読」をチェックしてクリックしてください。これにより、設定ウィザードのインターフェースに進みます。

- a. 地域（例：イギリス）を選択し、[次へ]をクリックします。
- b. ゾーン、ビデオ形式（周波数）、日付と時間形式を設定します。

Config

Frequency:

Zone:

Date Format:

Time Format:

c. 必要に応じてセキュリティ質問とその回答を設定します。質問と回答の設定後、[次へ]をクリックして続行します。パスワードのリセットは非常に重要です。回答を忘れないようにしてください。

d. デバイスを有効化します。

Device Activation	
User Name	<input type="text" value="admin"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> Activate Onvif User
New Password	<input type="text"/>
	8~16 characters; Numbers, special characters, upper case letters and lower case letters must be included.
Confirm Password	<input type="text"/>
<input type="button" value="Back"/> <input type="button" value="Save"/>	

デフォルトのユーザー名は「admin」です。指示に従って「admin」のパスワードを自分で設定してください。

注：アカウントのセキュリティのために、強力なパスワードを使用することを強くお勧めします。パスワードレベルを変更したい場合は、[設定] → [セキュリティ管理] → [パスワードセキュリティ] インターフェースに移動し、レベルを変更した後、[設定] → [ユーザー] で admin のパスワードを変更できます。

ONVIF のパスワードを変更するには、「ONVIF ユーザーを有効化」ボックスをチェックするか、[設定] → [ネットワーク] → [ONVIF] のセクションでパスワードを変更してください。

ONVIF プロトコルを通じてサードパーティのプラットフォームにカメラを接続する場合、デフォルトのユーザー名と上記で設定したパスワードを使用して接続できます。

e. 「保存」をクリックして設定を保存します。

上記の項目をすべて設定した後、システムは再起動します。プライバシー声明をお読みいただき、「既読」をチェックしてクリックしてください。すると、下記のようなログインインターフェースが表示されます。初めてログインする場合、指示に従って Active X コントロールをダウンロード、インストール、実行してください。

Name:	<input type="text" value="admin"/>
Password:	<input type="text" value="Please enter password"/>
Stream Type:	<input type="text" value="1280x720 30fps"/> ▼
Language:	<input type="text" value="English"/> ▼
Forgot Password?	
<input type="button" value="Login"/>	

ユーザー名（admin）とパスワードを入力してください。その後、必要に応じてストリームタイプと言語を選択します。

ストリームタイプ：プラグイン不要のライブビューは、1080P 以下の解像度のみサポートしています。admin のパスワードを忘れた場合は、ログインページで「パスワードを忘れた場合」をクリックして、セキュリティ質問と回答を使用してパスワードをリセットできます。

1.1.2 ウェブブラウザ経由で直接アクセス

デフォルトのネットワーク設定は次のとおりです。

IP アドレス: 192.168.226.201

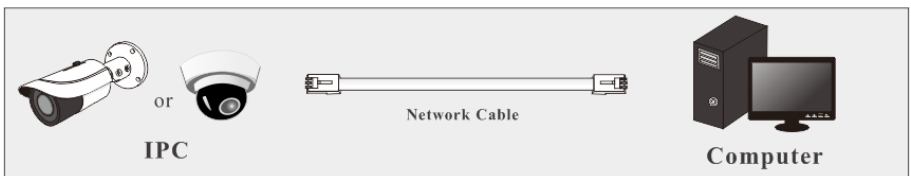
サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイ: 192.168.226.1

HTTP: 80

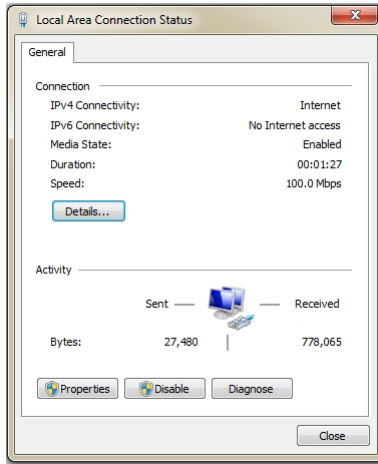
ポート: 9008

カメラに初めてログインする際は、上記のデフォルト設定を使用してください。ネットワークケーブル介してカメラをコンピューターに直接接続してください。

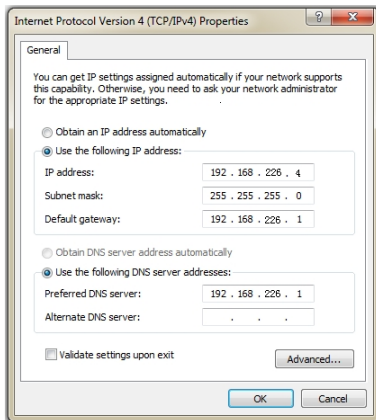


- ① PC の IP アドレスとネットワークセグメントを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じにし

てください。ネットワークと共有センターを開き、「ローカルエリア接続」をクリックすると、次のウィンドウがポップアップ表示されます。



「プロパティ」を選択し、実際の状況に応じてインターネットプロトコル（例：IPv4）を選択します。その後、「プロパティ」ボタンをクリックして、PC のネットワーク設定を行います。



- ② ウェブブラウザを開き、IP カメラのデフォルトアドレスを入力して確定します。
- ③ 案内に従って ActiveX コントロールをダウンロードおよびインストールします。
- ④ ログイン画面にデフォルトのユーザー名とパスワードを入力し、ログインして映像を確認します。

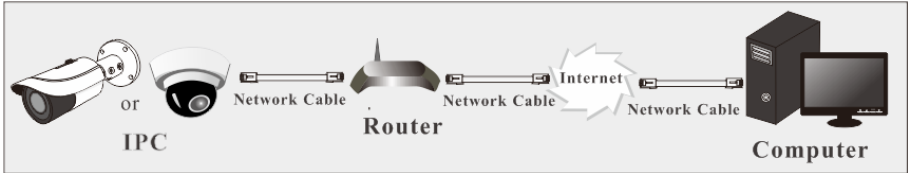
1.2 WAN

➤ P2P 経由のアクセス

上記の手順（1.1.1 参照）に従ってデバイスを接続およびアクティベートしてください。[設定] → [ネットワーク] → [P2P] をクリックして P2P を有効にし、www.autonat.com にアクセスしてウェブクライアントからリモートで閲覧できます。

メモ: 地域によってログインアドレスが異なる場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。

➤ ルータまたは仮想サーバー経由でアクセス



① カメラがローカルネットワークに接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインして、[設定] → [ネットワーク] → [ポート] メニューに進み、ポート番号を設定します。

HTTP Port	80
HTTPS Port	443
Data Port	9008
RTSP Port	554

ポートのセットアップ

② [設定] → [ネットワーク] → [TCP/IP] メニューに進み、IP アドレスを変更します。

IPv4	IPv6	PPPoE Config	IP Change Notification Config
<input type="radio"/> Obtain an IP address automatically			
<input checked="" type="radio"/> Use the following IP address			
IP Address	192.168.226.201	Test	
Subnet Mask	255.255.255.0		
Gateway	192.168.226.1		
Preferred DNS Server	210.21.196.6		
Alternate DNS Server	8.8.8.8		

IP のセットアップ

③ ウェブブラウザを使用してルーターの管理画面にアクセスし、「バーチャルサーバー」機能でカメラ

の IP アドレスとポートを転送（ポートフォワーディング）します。

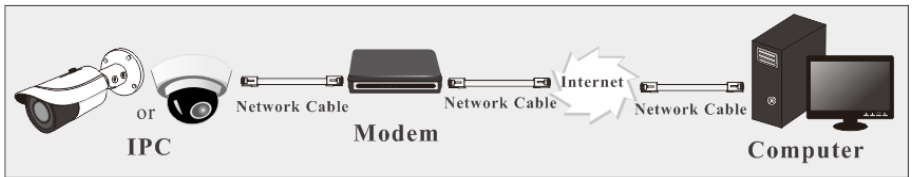
Port Range						
Application	Start	End	Protocol	IP Address	Enable	
1	9007	to 9008	Both	192.168.1.201	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	80	to 81	Both	192.168.1.201	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	10000	to 10001	Both	192.168.1.166	<input type="checkbox"/>	
4	21000	to 21001	Both	192.168.1.166	<input type="checkbox"/>	

ルーターの設定

- ④ ウェブブラウザを開き、WAN IP アドレスと HTTP ポートを入力してアクセスします。
 (例：HTTP ポートを「81」に変更した場合、ブラウザのアドレスバーに「192.198.1.201:81」と入力してアクセスしてください)

➤ PPPoE ダイアルアップ経由のアクセス

ネットワーク接続



PPPoE 自動ダイヤルアップ経由でカメラにアクセスします。設定手順は次のとおりです。

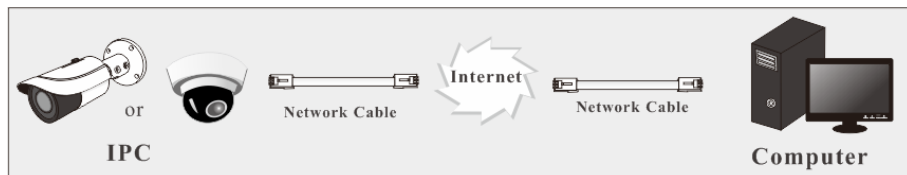
- ① 「ネットワーク→ポートの設定」メニュー→に移動してポート番号を設定します。
- ② 「ネットワーク→設定」→「TCP/IP」→「PPPoE 設定」メニューに進みます。PPPoE を有効にし、インターネットサービスプロバイダーから提供されたユーザー名とパスワードを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE Config	IP Change Notification Config
<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
User Name		xxxxxxx	
Password		●●●●●●	
Save			

- ③ **【設定】** → **【ネットワーク】** → **【DDNS】** メニューに進みます。DDNSを設定する前に、ドメイン名をあらかじめ取得してください。詳しくは「DDNS 設定」をご参照ください。
- ④ ウェブブラウザを開き、取得したドメイン名と HTTP ポートを入力してアクセスします。

➤ 静的 IP によるアクセス

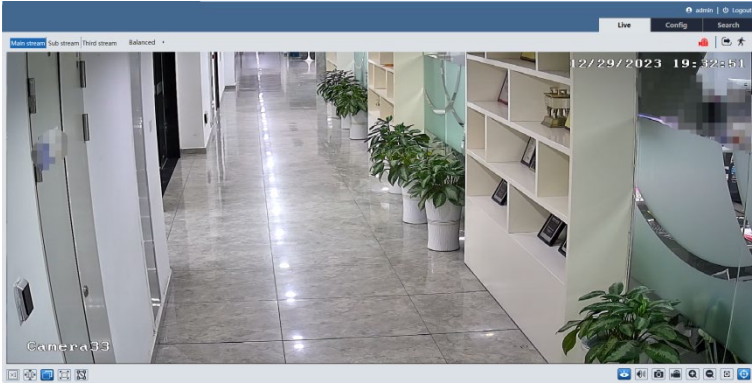
ネットワーク接続



設定手順は以下の通りです：

- ① **【設定】** → **【ネットワーク】** → **【ポート】** メニューに進み、ポート番号を設定します。
- ② **【設定】** → **【ネットワーク】** → **【TCP/IP】** メニューに進み、「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れて、静的 IP アドレスおよびその他のパラメータを入力します。
- ③ ウェブブラウザを開き、WAN IP アドレスと HTTP ポートを入力してアクセスします。


ログイン後、次のウィンドウが表示されます。



ライブビュー画面上のアイコンの説明です。

アイコン	説明	アイコン	説明
	オリジナルサイズ		AZコントロール（電動ズームレンズ搭載モデルのみ）
	画面を合わせる		ルール情報表示
	自動（ウィンドウを埋める）		モーションアラーム
	全画面表示		シーンチェンジ
	測定ツール		色異常
	ライブビューの開始/停止		異常な透明度
	オーディオを有効化/無効化		リンククロス
	スナップショット		侵入
	ローカル録画の開始/停止		オブジェクト検出（物体の放置/紛失）
	ズームイン		SDカード録画
	ズームアウト		

***測定ツール**：ライブビューインターフェースで選択した領域の高さと幅のピクセルを取得します。

（この機能は、スマートイベントシナリオでメインストリームのみ使用可能です）画像上で  マウスをクリックしてドラッグし、希望するボックスを描画すると、ボックス内に幅と高さのピクセルが直接表示されます。

スマートアラームインジケータは、カメラがこれらの機能をサポートしており、対応するイベントが有効になっている場合にのみ点滅します。

プラグイン不要のライブビュー：ローカル録画はサポートされておらず、プレビューのモード切替（リアルタイム/バランス/フルイベントモード）も利用できません。

フルスクリーンモードでは、マウスをダブルクリックするか、キーボードの ESC キーを押すことで終了できます。

ルール情報の説明



ターゲット認識ボックスの色の説明：

緑色のボックス：人間を検出

紫色のボックス：自動車を検出

水色のボックス：非自動車（バイク/自転車）を検出

イベントがトリガーされた後のターゲットボックス：黄色に変わる

ルールラインまたはエリアの色表示：

ルールラインまたはエリア：青

イベントがトリガーされた後のルールラインまたはエリア：青から赤に変わる

Web カメラクライアントで、「設定」を選択して設定インターフェースに進みます。

メモ：設定が適用可能な場合は、「保存」ボタンをクリックして設定を保存してください。

3.1 システム構成

3.1.1 基本情報

「基本情報」インターフェースでは、デバイス名、製品モデル、ファームウェアバージョン、デバイス ID、QR コードなど、デバイスのシステム情報が表示されます。

P2P 機能を有効にした後（**[設定]** → **[ネットワーク]** → **[P2P]**）、モバイル APP を使用してこの QR コードをスキャンすることで、デバイスを迅速に追加できます。

3.1.2 日付と時刻

「設定→システム→日付と時刻」に進みます。以下の画面を参照してください。

The screenshot shows a configuration window titled "Date and Time" with a "Summer Time" tab. It includes a "Zone" dropdown menu, a "Time Mode" section with radio buttons for "Synchronize with NTP server" (selected) and "Set manually", an NTP server text box, an "Update period" spinner box, a "Set Time" text box, and a "Sync with computer local time" checkbox. A "Save" button is located at the bottom center.

必要に応じてタイムゾーンと時間モードを選択します。

注意：カメラとコンピューターのタイムゾーンは同じでなければなりません。カメラのタイムゾーンはコンピューターのタイムゾーンに合わせて変更することをお勧めします。コンピューターのタイムゾーンが変更された場合、現在の Web クライアントを閉じ、再度開いてログインし直してください。

時間モード：

NTP： NTP サーバーを指定して時間を同期します。

手動： システム時刻を手動で設定するか、ローカルコンピュータの時刻と同期できます。

「サマータイム」タブをクリックして、必要に応じて DST（夏時間）を設定します。

<input checked="" type="checkbox"/> DST					
<input checked="" type="radio"/> Auto DST					
<input type="radio"/> Manual DST					
Start Time	January	First	Sunday	00	Hour
End Time	Februa	First	Monde	00	Hour
Time Offset	120 Minutes				
<input type="button" value="Save"/>					

3.1.3 ローカル設定

[設定] → **[システム]** → **[ローカル設定]** に進み、キャプチャした画像や録画したビデオの保存パスをローカル PC に設定します。また、録画ファイルに音声を有効または無効にするオプションもあります。

Picture Path	C:\Program Files\NetIPCamera\Picture	<input type="button" value="Browse"/>
Record Path	C:\Program Files\NetIPCamera\Record	<input type="button" value="Browse"/>
Video Audio Settings	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close	
Show Bitrate	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close	
Local Smart Snapshot Storage	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close	
<input type="button" value="Save"/>		

ビットレート表示：ライブビデオでのビットレート表示を有効または無効にします。さらに、「ローカルスマートスナップショットストレージ」をここで有効または無効にすることができます。有効にすると、スマートイベントによってトリガーでキャプチャされた写真がローカル PC に保存されます。

注意：プラグインなしで Web ブラウザからカメラにアクセスする場合、上記の画面ではビットレート表示のみを設定できます。

3.1.4 ストレージ

[設定] → **[システム]** → **[ストレージ]** に進み、以下のインターフェースが表示されます。

Management	Record	Snapshot	FTP Snapshot
Total picture capacity	<input type="text" value="6088 MB"/>		
Picture remaining space	<input type="text" value="5955 MB"/>		
Total recording capacity	<input type="text" value="54720 MB"/>		
Record remaining space	<input type="text" value="54720 MB"/>		
State	<input type="text" value="Normal"/>		
Snapshot Quota	<input type="text" value="10"/> %		
Video Quota	<input type="text" value="90"/> %		
Changes in the quota ratio need to be formatted before they become effective.			
<input type="button" value="Eject"/> <input type="button" value="Format"/>			

● SD カード管理

「フォーマット」ボタンをクリックすると、SD カードがフォーマットされます。このボタンをクリックすると、すべてのデータが消去されます。

「取り出し」ボタンをクリックすると、SD カードへのデータ書き込みが停止します。その後、SD カードを安全に取り外すことができます。

スナップショットのクォータ: SD カードに保存されるキャプチャ画像の容量の割合を設定します。

ビデオのクォータ: SD カードに保存される録画ファイルの容量の割合を設定します。

メモ: このシリーズの製品は ANR（自動ネットワーク補充）機能をサポートしています。

1. カメラのネットワークが切断された場合（例：ネットワークケーブルが抜かれた場合）、カメラは自動的に録画を開始し、録画ファイルを SD カードに保存します。
2. IPC が ANR 機能をサポートする NVR に追加され、NVR で IPC の ANR 機能が有効化されると、NVR と IPC 間のネットワークが切断された際に、IPC は自動的に録画を開始し、録画ファイルを SD カードに保存します。接続が復旧した後、IPC はオフライン期間中に録画したファイルを自動的に NVR にアップロードします。

● スケジュール録画設定

1. **[設定] → [システム] → [ストレージ] → [録画]** に進み、以下のインターフェースが表示されます。

Management	Record	Snapshot	FTP Snapshot
Record Parameters			
Record Stream	<input type="text" value="Main stream"/>		
Pre Record Time	<input type="text" value="No Pre Record"/> (H264,H265,MJPEG)		
Cycle Write	<input type="text" value="Yes"/>		
Timing			
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Schedule Record			

2. 録画ストリーム、プレ録画時間、循環書き込みを設定します。

プレ録画時間: 実際の録画が開始する前に録画を開始する時間を設定します。

3. スケジュール録画を設定します。「スケジュール録画を有効にする」にチェックを入れ、スケジュールを設定します。

Erase Add
Manual Input Select All Invert Clear

Week Schedule

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
Sun.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Mon.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Tue.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Wed.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Thu.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Fri.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								
Sat.	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								

Holiday Schedule

+

-

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	00:00-24:00 Apply settings to Manual Input Select All Invert Clear																								

Save

週間スケジュール

アラーム時間を月曜日から日曜日までの 1 週間で設定します。各日は 1 時間刻みで区切られています。緑色はスケジュールが設定されていることを示し、空白はスケジュールが設定されていないことを示します。

「追加」: 特定の日にスケジュールを追加します。マウスをドラッグしてタイムライン上で時間を設定します。

「消去」: スケジュールを削除します。マウスをドラッグしてタイムライン上の時間を消去します。

手動入力: 特定の日にクリックして、開始時刻と終了時刻を入力します。これにより、より細かい単位（分単位）の設定が可能になります。

日別スケジュール

特定の日（例：休日）のアラーム時間を設定します。

メモ：休日のスケジュールは週次のスケジュールより優先されます。

● スナップショット設定

[設定] → [システム] → [ストレージ] → [スナップショット] に進み、以下の画面が表示されます。

Management	Record	Snapshot	FTP Snapshot
Snapshot Parameters			
Image Format	JPEG ▾		
Resolution	704x480 ▾		
Image Quality	Low ▾		
Event Trigger			
Snapshot Interval	1	Second	
Snapshot Quantity	5		
Timing			
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Timing Snapshot			
Snapshot Interval	5	Second	

SD カードに保存される画像のフォーマット、解像度、品質、スナップショットの間隔および数量、タイミングスナップショットをここで設定します。

スナップショット数量：

ここで設定した数値はスナップショットの最大数量です。実際のスナップショットの数は、この数より少ない場合があります。例えば、アラームイベントの発生時間が画像撮影時間より短い場合、実際のスナップショット数は設定した数量より少なくなります。

タイミングスナップショット：

タイミングスナップショットを有効にしてから、スナップショットの間隔とスケジュールを設定します。スケジュールの設定方法は、スケジュール録画と同じです（[スケジュール録画の参照](#)）。

● FTP スナップショット

有効にすると、システムは時間間隔に従ってスナップショットを FTP サーバーにアップロードします。

Management	Record	Snapshot	FTP Snapshot
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Timing Snapshot			
Server Address	[.....n(10.***.***.101)]		
Snapshot Interval	60	Second	
<input type="button" value="Save"/>			


サーバーアドレス: 設定した FTP サーバーを選択します。FTP サーバーの設定については、[FTP セクションを参照してください。](#)

3.2 画像設定

3.2.1 ディスプレイ設定

「画像」→「ディスプレイ」メニューに移動すると、以下のようなインターフェースが表示されます。画像の明るさ、コントラスト、色調、彩度などを、通常モード、昼間モード、夜間モードごとに個別に設定できます。設定ファイルを切り替えることで、画像の効果を素早く確認することができます。メモ: カメラの機種によって、設定項目が若干異なる場合があります。以下の画像と説明は参考用であり、実際のカメラインターフェースに基づくものです。

デュアルライトモデル:

Camera Parameters	Profile Management
	
Config File: Common	
Brightness: [Slider] 50	
Contrast: [Slider] 50	
Hue: [Slider] 50	
Saturation: [Slider] 50	
Sharpness: <input type="checkbox"/> [Slider] 128	
Noise Reduction: <input type="checkbox"/> [Slider] 128	
BLC: HWDR	
Level: Mid	
White Balance: Auto	
Shutter: 1/30	
Gain: [Slider] 50	
<input type="button" value="Default"/> <input type="button" value="Revoke"/>	
Video Adjustment Frequency: 60HZ Illumination Mode: Smart Supplement Light Corridor Pattern: 0 Image Mirror: <input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close Image Flip: <input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close	

明るさ (Brightness) : カメラ映像の明るさレベルを調整します。

コントラスト (Contrast) : 最も明るい部分と最も暗い部分の色差を設定します。

色相 (Hue) : 画像全体の色合いを調整します。

彩度 (Saturation) : 色の純度を設定します。彩度が高いほど色が鮮明になります。

鮮明度 (Sharpness) : 画像平面の解像度や輪郭の鮮明さを設定します。

ノイズリダクション (Noise Reduction) : 画像のノイズを減少させて映像を明瞭にします。値を高くするとノイズ除去効果が強くなりますが、解像度がやや下がる可能性があります。

デフォグ (Defog) : 霧、ホコリ、スモッグ、雨天などの環境下で明瞭な映像を得るために使用します。(一部機種のみ対応)

逆光補正 (Backlight Compensation / BLC)

- オフ (Off) : 逆光補正機能を無効にします (初期設定)。
- HWDR (ハードウェア WDR) : 明暗差が激しいシーンで、明るい部分を暗く、暗い部分を明るく補正し、バランスの取れた映像を表示します。(録画が一時停止する場合あり。対応機種のみ)

メモ : 一部のモデルのみが HWDR (ハードウェア WDR / 真の WDR) に対応していません。お使いのカメラが HWDR に対応していない場合は、代わりにデジタル WDR を設定してください。

- **HLC** : 画面の明るい部分の光を抑え、ハレーション (白飛び) を軽減します。
- **BLC** : 暗い部分にある対象物が見えやすくなるように、自動露出を調整します。

フリッカー対策 (Antiflicker)

- オフ (Off) : 主に屋外設置時に使用。
- **50Hz/60Hz** : 照明の周波数に合わせて選択(日本では通 50Hz または 60Hz)。**ホワイトバランス (White Balance)** : 周囲の色温度に応じて自動で調整されます。**シャッター (Shutter)** : 有効な露光時間の上限を設定します。設定範囲内で自動調整されます。

ゲイン (Gain) : 増幅度の上限を設定します。照度が低い場合に自動調整されます

レンズ歪み補正 (Lens Distortion Correction) : 画像の歪みが発生している場合に有効化します。実際のシーンに応じて調整します。(一部機種のみ対応) **周**

波数設定 (Frequency) : 50Hz または 60Hz を選択可能です。 **コ**

リドーパターン (Corridor Pattern) : 廊下のような細長い場所に適したビュー設定。

0°、90°、180°、270°の角度が選べます。デフォルトは 0°。※この設定を有効にすると、HWDR は無効になります (一部機種対応)

ミラー (Image Mirror) : 映像を左右反転します。

フリップ (Image Flip) : 映像を上下反転します。

補助照明モード (Illumination Mode) : 必要に応じて、「白色光 (White light)」、「赤外線光 (Infrared light)」、または「スマート補助光 (Smart su

スマート補助光 : 選択された場合、低照度環境ではシステムが自動的に可視赤外線ライ

トを点灯させます。検出エリアに人や車両が現れると、システムは自動的にフル輝度の可視白色ライトに切り替わります。人や車両が検出エリアを離れ、設定された時間が経過すると、再び赤外線ライトに戻ります。詳細については、スマート補助ライト設定をご覧ください。

「白色光」が選択された場合、露出過剰制御と白色光モードを設定できます。

白色光モードの設定：「オフ」、「自動」または「手動」を選択してください。必要に応じて選択してください。

露出過剰制御：「オフ」、「低」、「中」または「高」を選択してください。この機能は、画像の実際の効果に基づいて露出パラメータを自動的に調整し、画像の露出過剰による細部の欠落を効果的に避け、より鮮明な画像を提供します。必要に応じて設定してください。

「赤外線ライト」が選択された場合、「スマート IR」、「昼/夜モード」、および「赤外線モード」を設定できます。

スマート IR：「オン」または「オフ」を選択してください。この機能は、画像の露出過剰を効果的に避け、画像をよりリアルにすることができます。レベルが高いほど、露出過剰補正が強くなります。


Day/Night モード：「自動」、「昼」、「夜」または「タイミング」を選択してください。「タイミング」が選択された場合、昼間と夜間の時間を設定する必要があります。例えば、「昼間」が「7:00」に設定されている場合、カメラは 7:00 に昼モードに切り替わり、「夜間」が「17:00」に設定されている場合、カメラは 17:00 に昼モードから夜モードに切り替わります。

赤外線モード：

「自動」、「オン」または「オフ」を選択してください。

IR モデルのみ：カメラのモデルによって、カメラのパラメータは多少異なる場合があります。

Camera Parameters
Profile Management



2023/06/09 19:33:12


Config File Common

Brightness	<input type="range"/>	50
Contrast	<input type="range"/>	50
Hue	<input type="range"/>	50
Saturation	<input type="range"/>	50
Sharpness	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	128
Noise Reduction	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	128
BLC	<input type="text" value="Off"/>	
Antiflicker	<input type="text" value="Off"/>	
Smart IR	<input type="text" value="Off"/>	
White Balance	<input type="text" value="Auto"/>	
Day/Night Mode	<input type="text" value="Auto"/>	
Sensitivity	<input type="text" value="Mid"/>	
Delay Time(Second)	<input type="range"/>	2
Shutter	<input type="text" value="1/25"/>	
Gain	<input type="range"/>	50

Video Adjustment

Frequency	<input type="text" value="50HZ"/>
Infrared Mode	<input type="text" value="Auto"/>
Corridor Pattern	<input type="text" value="0"/>
Image Mirror	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close
Image Flip	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close

Camera Parameters
Profile Management



2023/08/01 15:15:14

Config File Common

Brightness	<input type="range"/>	50
Contrast	<input type="range"/>	50
Hue	<input type="range"/>	50
Saturation	<input type="range"/>	50
WDR	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	128
Sharpness	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	128
Noise Reduction	<input type="checkbox"/> <input type="range"/>	128
BLC	<input type="text" value="Off"/>	
Antiflicker	<input type="text" value="Off"/>	
Smart IR	<input type="text" value="Off"/>	
White Balance	<input type="text" value="Auto"/>	
Day/Night Mode	<input type="text" value="Auto"/>	
Sensitivity	<input type="text" value="Mid"/>	
Delay Time(Second)	<input type="range"/>	2
Shutter	<input type="text" value="1/25"/>	
Gain	<input type="range"/>	50

Video Adjustment

Frequency	<input type="text" value="50HZ"/>
Infrared Mode	<input type="text" value="On"/>
Image Mirror	<input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close
Image Flip	<input checked="" type="radio"/> Open <input type="radio"/> Close

「スマート IR」、「昼/夜モード」および「赤外線モード」を設定できます。

メモ：いくつかの項目では、選択または有効にするとカメラが自動的に再起動します。その後、「デフォルト」ボタンをクリックしても効果はありません。


画像パラメータのスケジュール設定：

下記のように「プロフィール管理」タブをクリックしてください。

The screenshot shows the 'Profile Management' tab selected. Under the 'Schedule' label, a dropdown menu is set to 'Full Time'. Under the 'Config File' label, a dropdown menu is set to 'Common'. A 'Save' button is located at the bottom right of the panel.

共通のフルタイムスケジュール、オートモード、および昼夜の指定時間スケジュールを設定します。下記のように、スケジュールのドロップダウンボックスで「タイミング」を選択してください。

The screenshot shows the 'Timing' schedule configuration. The 'Schedule' dropdown is set to 'Timing'. Below it, the 'Time Range' is visualized as a horizontal bar from 0:00 to 24:00. A green segment represents 'Day' from 0:00 to 20:00, and a white segment represents 'Night' from 20:00 to 24:00. A 'Save' button is at the bottom.

「」アイコンをドラッグして、昼間と夜間の時間を設定します。青色は昼間を意味し、空白は夜間を意味します。カメラパラメータの現在のモードがスケジュールに設定されている場合、画像の設定モードはスケジュールに従って自動的に昼夜を切り替えます。

3.2.2 ビデオ/オーディオ設定

「画像」→「ビデオ/オーディオ」に移動します。ここでは、実際のネットワーク環境に応じて、解像度、フレームレート、ビットレートタイプ、ビデオ品質などを設定します。

メモ：カメラシリーズによって、ビデオストリームパラメータは異なる場合があります。以下の画像および説明は参考用です。実際のカメラインターフェースが優先されます。

Video		Audio							
Index	Stream Name	Resolution	Frame Rate	Bitrate Type	Bitrate(Kbps)	Video Quality	I Frame Interval	Video Compression	Profile
1	Main stream	1920x1080	30	CBR	1536	Medium	120	H265	Main Profile
2	Sub stream	1280x720	30	CBR	1536	Medium	120	H264+	Main Profile
3	Third stream	704x480	30	CBR	512	Medium	120	H265	Main Profile

Send Snapshot Sub stream Size:(1280x720)

Video encode slice split

Watermark(Only support H264, H265) Watermark content:

Save

3つのビデオストリームを調整できます。

解像度：画像のサイズです。

フレームレート：フレームレートが高いほど、動画は滑らかになります。

ビットレートタイプ：CBRとVBRの2つから選択できます。ビットレートは画像品質に関連しています。CBR（定常ビットレート）は、動画シーンにどれだけ変化があっても圧縮ビットレートが一定に保たれることを意味します。VBR（可変ビットレート）は、シーンの変化に応じて圧縮ビットレートを調整します。例えば、動きの少ないシーンではビットレートが低く保たれます。これにより、ネットワーク帯域幅の使用が最適化されます。

ビットレート：モードがCBRに設定されているときに調整できます。ビットレートが高いほど、画像品質は向上します。

ビデオ品質：モードがVBRに設定されているときに調整できます。画像品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。

Iフレーム間隔：グループ内の「画像のセット」の間に許可されるフレーム数を決定します。新しいシーンが動画で始まると、そのシーンが終了するまで、全てのフレーム（または画像）は一組の画像として扱われます。シーンにあまり動きがない場合、フレームレートよりも高い値に設定することが可能で、帯域幅使用量を削減できます。ただし、値を高く設定しすぎると、動画に頻繁に動きがある場合にフレームスキップのリスクがあります。

ビデオ圧縮：MJPEG、H264+、H264、H265またはH265+から選択できます。MJPEGはメインストリームでは使用できません。H.265/H.265+を選択した場合、クライアントシステムがH.265/H.265+をデコードできることを確認してください。H.265に比べて、H.265+は同じ最大ビットレートでより多くのストレージスペースを節約します。H.264に比べて、H.265は同じ解像度、フレームレート、画像品質で伝送ビットレートを削減します。

プロファイル：H.264では、ベースライン、メイン、ハイプロファイルから選択できます。

スナップショット送信：スナップショットストリームを設定します。

ビデオエンコードスライス分割：この機能を有効にすると、低性能PCでもスムーズな画像を得ることができます。

ウォーターマーク：検索インターフェースでローカルに録画したビデオを再生する際に、ウォーターマークを表示できます。これを有効にするには、ウォーターマークボックスにチェックを入れ、ウォーターマークテキストを入力してください。

「オーディオ」タブをクリックして、下記のインターフェースに移動します。
内蔵マイクを搭載したモデルのみ、この機能をサポートしています。

Video	Audio
<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
Audio Encoding	G711A
Audio Type	MIC
MIC In Volume	<input type="range" value="75"/>


オーディオエンコーディング：G711AとG711Uから選択できます。

オーディオタイプ：MICまたはLINを選択します。（内蔵MICを使用する場合は「MIC」を選択し、外部のラインレベルオーディオ入力デバイスを使用する場合は「LIN」を選択します。）

LIN/MIC 入力音量：必要に応じて設定してください。

3.2.3 OSD 設定

「画像」→「OSD」：ここで、タイムスタンプ、デバイス名、OSD コンテンツを設定します。

	OSD Time Format	24-Hour	
	OSD Date Format	YYYY-MM-DD	
		<input checked="" type="checkbox"/>	Show Timestamp
	Device Name	IPC	
		<input checked="" type="checkbox"/>	Show Device Name
	<input type="checkbox"/>	OSD Content	

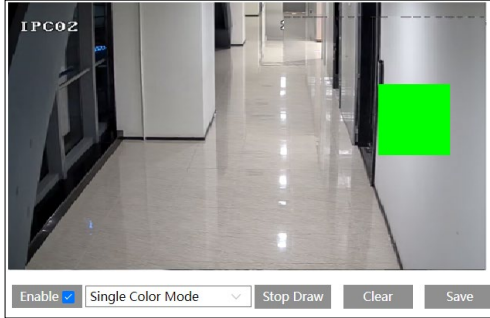
対応する表示を有効にし、コンテンツを入力した後、ドラッグして位置を変更できます。その後、「保存」ボタンをクリックして設定を保存してください。

一部のモデルでは画像の重ね合わせをサポートしている場合があります。「OSD コンテンツ」をチェックし、「画像重ね合わせ」を選択して、をクリックして重ね合わせる画像を選択します。その後、「開く」をクリックして画像をアップロードします。画像のピクセルは 200*200 を超えてはいけません。そ

れを超えるとアップロードできません。（カメラがこの機能をサポートしていない場合は、上記の指示をスキップしてください。）

3.2.4 ビデオマスク

「画像」→「ビデオマスク」：最大で 4 つのゾーンを設定できます。



ビデオマスクを設定するには：

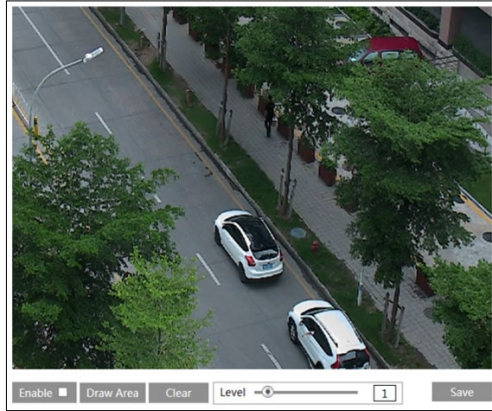
1. ビデオマスクを有効にします。
2. 「エリア描画」ボタンをクリックし、マウスをドラッグしてビデオマスクエリアを描きます。
3. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。
4. ライブ画面に戻り、描画したエリアが画像のようにブロックされていることを確認します。



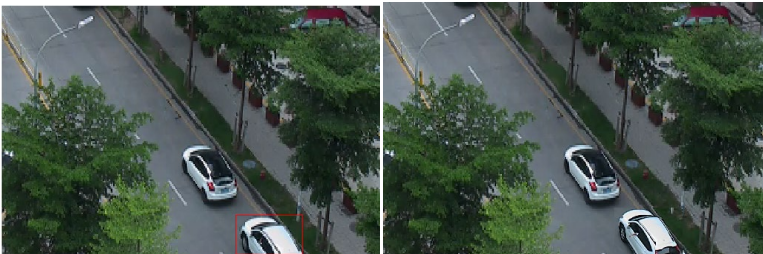
ビデオマスクをクリアするには：「クリア」ボタンをクリックして、現在のビデオマスクエリアを削除します。

3.2.5 ROI 設定

画像→ROI 設定：画像内の一部を関心領域（ROI）として設定できます。このエリアは、画像の他の部分よりも高いビットレートが割り当てられ、その結果、特定されたエリアの画像品質が向上します。

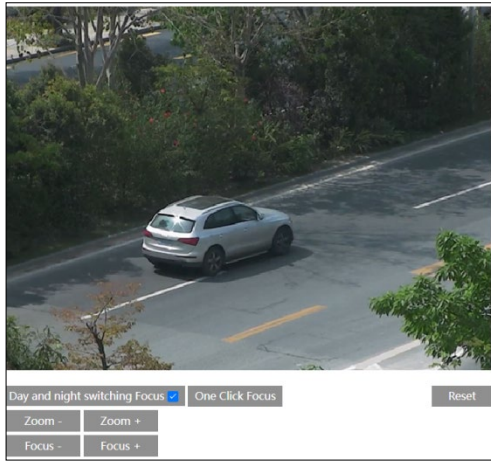


1. 「有効化」にチェックを入れ、「エリア描画」ボタンをクリックします。
2. マウスをドラッグして ROI エリアを設定します。
3. レベルを設定します。
4. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。



3.2.6 レンズコントロール

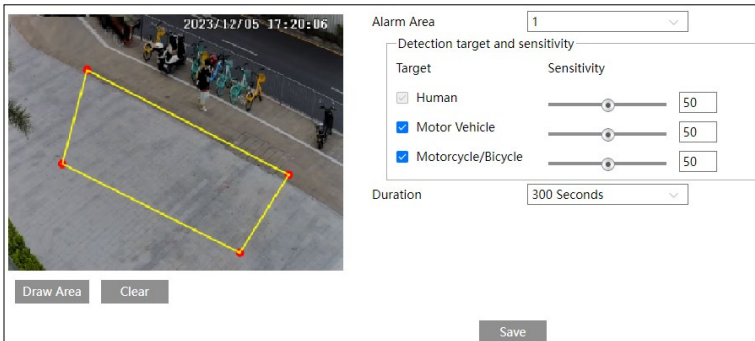
この機能は、モーター駆動ズームレンズを搭載したモデルでのみ利用可能です。このセクション内で、ズームとフォーカスを操作できます。手動で調整した後に画像がピンぼけになった場合は、ワンクリックで自動的にフォーカスを設定することができます。設定するには、「設定」→「画像」→「ズーム/フォーカス」に移動します。



3.2.7 スマート補助ライト

この機能は一部のモデルでのみ利用可能です。

- 1.表示設定インターフェースで照明モードを「スマート補助ライト」に設定します。
- 2.「設定」→「画像」→「スマート補助ライト」に移動します。



- 3.アラームエリアを設定します。アラームエリア番号を選択します。最大で4つのアラームエリアを追加できます。「エリア描画」ボタンをクリックし、画像上でアラームエリアとして設定したいエリアを囲んでクリックします（アラームエリアは閉じたエリアである必要があります）。描画を終了するには「描画停止」ボタンをクリックします。アラームエリアを削除するには「クリア」ボタンをクリックします。

4. 検出対象と感度を設定します。「人間」がデフォルトで選択されています。必要に応じて「自動車」や「オートバイ/自転車」を選択することもできます。

感度：値が高いほど、ターゲットによって白色光がトリガーされやすくなります。

5. 白色光の継続時間を設定します。周囲の光が低い場合、システムは自動的に可視赤外線ライトをオンにします。設定したアラームエリアに人や車両が出現すると、自動的にフル明るさの可視白色光に切り替わります。人や車両がアラームエリアを離れ、設定された時間を超えて他の人物や車両が検出されない場合、赤外線ライトに戻ります。

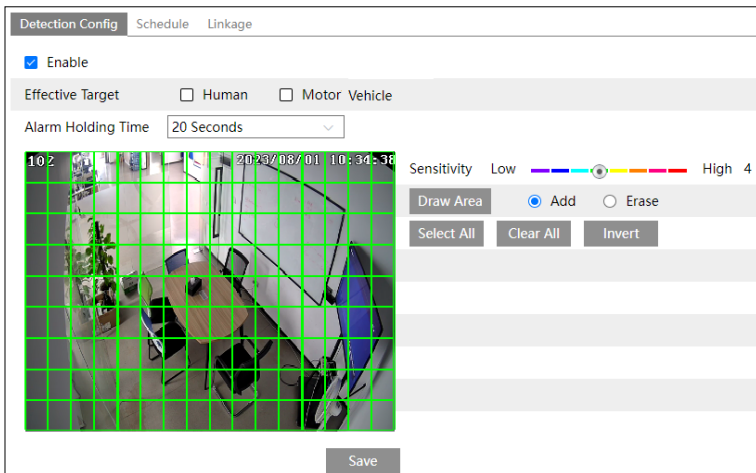
メモ：検出エリア内で動かずに滞在している人や車両が設定された時間を超えると、赤外線ライトに戻ります。

6. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

3.3 アラーム設定

3.3.1 動き検出

「アラーム」→「動体検知」に移動して、動体検知アラームを設定します。



1. 「有効化」チェックボックスにチェックを入れて、動体検知アラームを有効にします。チェックを外すと、カメラは動画に動きがあっても、NVR や CMS に動体検知録画をトリガーする信号を送信しません。

効果的なターゲット：「人間」または「自動車」を選択します。「人間/自動車」を有効にすると、カメラは人間や自動車の動きのみを検出します。ターゲットを選択しない場合、画像に動く物体が現れるとアラームがトリガーされます（人間、車両、その他の動く物体を含む）。

アラーム保持時間：アラームが終了した後、アラームがどれくらい延長されるかを示します。例えば、アラーム保持時間が 20 秒に設定されている場合、カメラが動きを検出するとアラームが発生し、その後 20 秒間は他の動きが検出されません。この期間中に別の動きが検出されると、それは連続的な動きとして扱われます。それ以外の場合は、単一の動きとして扱われます。

2. 動体検知エリアと感度を設定します。「感度」スライダーを動かして感度を設定します。感度が高いほど、動きがトリガーされやすくなります。

「追加」を選択し、「描画」をクリックします。マウスをドラッグして動体検知エリアを描画します。「消去」を選択し、マウスをドラッグして動体検知エリアを消去します。

その後、「保存」をクリックして設定を保存します。

3. 動体検知のスケジュールを設定します。

The screenshot displays the 'Schedule' configuration interface. At the top, there are tabs for 'Detection Config', 'Area and Sensitivity', and 'Schedule'. Below the tabs, there are radio buttons for 'Erase' and 'Add' (selected), and a 'Manual Input' button. The 'Week Schedule' section features a grid for each day of the week (Sun-Sat). Each day's grid has a time axis from 0 to 24 hours. A green bar is drawn from 00:00 to 24:00 for every day. Below each grid are buttons: 'Apply settings to', 'Manual Input', 'Select All', 'Invert', and 'Clear'. The 'Holiday Schedule' section includes a 'Date(MM-DD)' input field containing '10-18', a '+' button, a '-' button, and an empty input field. Below this is another grid with a green bar from 00:00 to 24:00. At the bottom, there is a 'Save' button.

週間スケジュール

月曜日から日曜日までの 1 週間のアラーム時間を設定します。各日は 1 時間単位で分割されます。緑色は予定されている時間、空白は予定されていない時間を示します。

「追加」：特定の日のスケジュールを追加します。マウスをドラッグしてタイムライン上で時間を設定

します。

「消去」：スケジュールを削除します。マウスをドラッグしてタイムライン上の時間を消去します。

手動入力：特定の日をクリックして、開始時間と終了時間を入力します。これにより、より細かい単位（分単位）で設定できます。

日別スケジュール

特定の日（例えば、祝日）のアラーム時間を設定します。

注意：祝日スケジュールは週次スケジュールより優先されます。

4.「連結」をクリックして、アラーム連動項目を設定します。

SD カードスナップショットをトリガー：選択すると、モーション検知時に画像をキャプチャし、SD カードに保存します。

SD カード録画をトリガー：選択すると、モーション検知時に映像を録画し、SD カードに保存します。

メールをトリガー：「メール送信」および「画像添付」をチェックすると（あらかじめメール設定画面でアドレスを設定する必要あり）、キャプチャ画像とイベント情報が指定のメールアドレスに送信されます。

FTP をトリガー：「FTP 送信」および「画像添付」をチェックすると、キャプチャ画像が FTP サーバーに送信されます。詳細は FTP 設定セクションを参照してください。

3.3.2 例外アラーム

● SD カードフル

1. 設定メニューから「設定」→「アラーム」→「例外アラーム」→「SD カードフル」に移動します

SD Card Full	SD Card Error	IP Address Collision	Cable Disconnect
<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
Alarm Holding Time	20 Seconds		
<input type="checkbox"/> Trigger Email			
<input type="checkbox"/> Trigger FTP			

2. 「有効にする」をクリックします。

3. アラーム保持時間およびトリガーオプションを設定します。設定手順はモーション検知と同様です。詳細はモーション検知セクションを参照してください。

● SD カードエラー

SD カード書き込み時にエラーが発生した場合、対応するアラームがトリガーされます。

1. 「設定」→「アラーム」→「例外アラーム」→「SD カードエラー」に移動します。

SD Card Full	SD Card Error	IP Address Collision	Cable Disconnected
<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
Alarm Holding Time	20 Seconds		
<input type="checkbox"/> Trigger Email			
<input type="checkbox"/> Trigger FTP			

2. 「有効にする」をクリックします。

3. アラームの保持時間とアラームトリガーのオプションを設定します。アラーム出力、メール、FTP をトリガーします。設定手順はモーション検知と同じです。モーション検知を参照してください。詳細についてはセクションをご覧ください。

● IP アドレスの競合

「設定」→「アラーム」→「例外アラーム」→「IP アドレス競合」に移動します。

SD Card Full	SD Card Error	IP Address Collision	Cable Disconnected
<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
Alarm Holding Time	20 Seconds		

この機能が有効化され、アラーム保持時間が設定された後、「設定」→「メンテナンス」→「操作ログ」に移動して、関連するアラーム情報を確認できます。

ケーブル切断


「設定」→「アラーム」→「例外アラーム」→「ケーブル切断」に移動します。



SD Card Full	SD Card Error	IP Address Collision	Cable Disconnected
<input checked="" type="checkbox"/> Enable Alarm Holding Time <input type="text" value="20 Seconds"/>			

この機能が有効化され、アラーム保持時間が設定された後、「設定」→「メンテナンス」→「操作ログ」に移動して、関連するアラーム情報を確認できます。

3.3.3 アラームサーバー

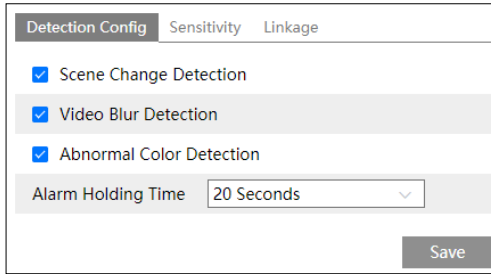
「アラーム」→「アラームサーバー」：「編集」をクリックして、アラームサーバーを設定します。

Server Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
Port	<input type="text" value="8010"/>
Heartbeat	<input type="text" value="Disable"/>
Heartbeat interval	<input type="text" value="30"/> Second
 <input type="button" value="Edit"/>	

サーバーアドレス、ポート、ハートビート、およびハートビート間隔を設定します。アラームが発生すると、カメラはアラームイベントをアラームサーバーに転送します。アラームサーバーが不要な場合、このセクションを設定する必要はありません。クリックすると  サーバーアドレス全体が表示され；クリックすると  敏感なデータの一部が非表示になります。

3.3.4 ビデオ例外

この機能は、外部要因によって影響を受けた監視環境の変化を検出できます。ビデオ例外検出を設定：「設定」→「イベント」→「ビデオ例外」に移動します。



1. 必要な検出を有効にします。

シーン変更検出：モニター映像のシーンが変更されると、アラームがトリガーされます。

ビデオぼやけ検出：映像がぼやけると、アラームがトリガーされます。

異常カラー検出：色の偏差により画像が異常になると、アラームがトリガーされます。

2. アラーム保持時間を設定します。
3. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。
4. 例外検出の感度を設定します。「感度」タブをクリックして、以下のインターフェースに移動します。



スライダーをドラッグして感度値を設定するか、テキストボックスに直接感度値を入力します。

「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

シーン変更検出の感度値：値が高いほど、シーン変更の振幅に対してシステムが敏感に反応します。

ビデオぼやけ検出の感度値：値が高いほど、映像のぼやけに対してシステムが敏感に反応します。

異常カラー検出の感度値：値が高いほど、画像の色の変化に対してシステムが敏感に反応します。

5. 「リンク」をクリックして、アラーム連動項目を設定します。設定手順は動体検知と同様

す。詳細については、「動体検知」セクションをご参照ください。

「SD カードスナップショットのトリガー」および/または「SD カード録画のトリガー」をチェックした後、「一般」イベントを選択して、ビデオ例外の録画ファイルやスナップショットを検索できます。

※ カメラおよび周囲環境の要件

1. 例外検出機能を使用する場合、オートフォーカス機能は無効にしてください。
2. シーン内の光の変化が大きい場合は、例外検出機能を有効にしないでください。
3. より詳細な運用シナリオについては、弊社までお問い合わせください。

3.4 イベント構成

より正確にするための設置に関するいくつかの推奨事項は以下の通りです。

- カメラは安定した表面に設置する必要があります。振動が検出精度に影響を与える可能性があります。
- 反射面（光沢のある床、鏡、ガラス、湖面など）にカメラを向けないようにしてください。
- 狭い場所や影が多すぎる場所を避けてください。
- 対象物の色が背景色と似ているシナリオは避けてください。
- 昼夜を問わず、カメラの画像が明確で、十分に均等な光が当たっていることを確認してください。両側が過剰に露出したり、暗すぎたりしないようにしてください。

注意：一部のモデルでは、複数のスマート検出イベント（例えば、ライン越え検出、領域侵入検出、放置/失われた物体検出など）を同時に有効にできますが、同時に複数のスマートイベントを検出すると、パフォーマンスが低下し、検出結果に影響を与える可能性があります。カメラの実際のパフォーマンスに基づいて、スマートイベントを有効にしてください。

3.4.1 放置／持ち去り物体検出

あらかじめ設定したエリアに物体が放置された、または物体が持ち去られた場合にアラームがトリガーされます。

放置／持ち去り物体検出を設定するには：

「設定」→「イベント」→「放置／持ち去り物体」に移動します。

The screenshot shows the 'Detection Config' page with the following settings:

- Enable:** Enable
- Detection Type:**
 - Enable Abandoned Object Detection
 - Enable Missing Object Detection
- Duration of Delay:** 10 Second
- Alarm Holding Time:** 20 Seconds
- Alarm Area:** 1

The central image shows a museum display case with a yellow bounding box around a black object. Below the image are buttons for 'Stop Draw', 'Clear', and 'Save'.

1. 放置／消失物体検出を有効にし、検出タイプを選択します。

放置物体検出を有効にする：あらかじめ定義されたエリアに物体が放置された場合にアラームが発生します。

消失物体検出を有効にする：あらかじめ定義されたエリアから物体が消失した場合にアラームが発生します。

遅延時間の設定：これは、エリア内に物体が放置された場合のアラーム遅延時(10～3600 秒の範囲)または、物体が取り除かれた場合のアラーム遅延時間(3～3600 秒の範囲)です。

たとえば、「放置物体検出を有効にする」が選択され、遅延時間が 10 秒に設定されている場合、物体がエリアに置かれて 10 秒間そのままの場合にアラームが発生します。ただし、10 秒以内に誰かが物体を持ち去った場合はアラームは発生しません。

2. アラーム保持時間を設定します。
3. 放置／消失物体検出のアラームエリアを設定します。

アラームエリア番号を設定し、必要に応じてアラームエリア名を入力します。追加できるアラームエリアは 1 つのみです。

「エリアを描画」ボタンをクリックし、画像上でアラームエリアとして設定したい箇所を囲むようにクリックしてください（エリアは閉じた領域である必要があります）。

「描画終了」ボタンで描画を終了、「クリア」ボタンでアラームエリアを削除できます。「保存」ボタンで設定を保存します。

4. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。
5. 放置／消失物体検出のスケジュールを設定します。
スケジュールの設定手順は、モーション検出のスケジュール設定と同様です（詳細は「モーション検出」セクションを参照してください）。
6. 「連動設定」ボタンをクリックしてアラームの連動項目を設定します。
設定手順はモーション検出と同様です。詳細は「モーション検出」セクションを参照してください。

※ カメラおよび周辺環境の設定要件

1. 検出対象のサイズは、画面全体の 1/50 から 1/3 の範囲を占めることが望ましいです
2. カメラで検出対象物が映っている時間は、3～5 秒間であることが推奨されます。
3. 定義された検出エリアは、人や車などが頻繁かつ継続的に通るような場所には設定しないでください。
4. 消失物体検出を正確に行うためには、描画された枠が検出対象物の縁に極力近づいている必要があります。これにより感度と精度が向上します。
5. 放置／消失物体検出は物体の所有者を判別することはできません。
例えば、駅に置かれた無人の荷物があっても、検出機能は荷物自体を認識しますが、それが誰の物であるかを判断することはできません。
6. シーン内の光の変化が大きい場合は、放置／消失物体検出を有効にしないことを推奨します。
7. 環境が複雑で動きの多いシーンでは、放置／消失物体検出の使用を避けてください。
8. 適切な照明と明瞭な映像は、放置／消失物体検出の精度を保つために非常に重要です。


3.4.2 ラインクロス

ライン横断検出：

ターゲットがあらかじめ設定したアラームラインを横断すると、アラームが発生します。

設定手順：

「設定(Config)」→「イベント(Event)」→「ライン横断(Line Crossing)」に進みます（以下の画面を参照）。

Detection Config		Schedule	Linkage
<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
<input type="checkbox"/> Save Original Picture To SD Card			
<input type="checkbox"/> Save Target Picture To SD Card			
Detection target and sensitivity			
Target	Sensitivity		
<input checked="" type="checkbox"/> Human	<input type="text" value="50"/>		
<input checked="" type="checkbox"/> Motor Vehicle	<input type="text" value="50"/>		
<input checked="" type="checkbox"/> Motorcycle/Bicycle	<input type="text" value="50"/>		
<input type="checkbox"/> Push target trajectory with a persistent connection			
Alarm Holding Time <input type="text" value="3"/> Seconds			
		Alarm Line Alarm Line <input type="text" value="1"/> Direction <input type="text" value="A->B"/>	
<input type="button" value="Draw Area"/> <input type="button" value="Clear"/> <input type="button" value="Draw Target Size"/>		Target Size Filter Target <input type="text" value="Human"/> Min Size Width <input type="text" value="1"/> % Height <input type="text" value="1"/> % Max Size Width <input type="text" value="90"/> % Height <input type="text" value="90"/> %	
<input type="button" value="Save"/>			

1. ラインクロスアラームを有効にし、スナップショットの種類および検出対象を選択します。

オリジナル画像をSDカードに保存：有効にすると、対象がアラームラインを横切ったときに撮影された元の画像がSDカードに保存されます。

ターゲット画像をSDカードに保存：有効にすると、ターゲットの切り出し画像がSDカードに保存されます。

メモ：スナップショットをローカルPCに保存する場合は、「ローカル構成」インターフェースで「ローカルスマートスナップショット保存」を有効にする必要があります。SDカードに保存するには、SDカードの装着が必要です。

検出対象の選択：

人物 (Human)：人がラインを横断した場合にアラームが発生します。 **車両**

(Motor Vehicle)：四輪以上の車両（車・バス・トラックなど）に反応。 **バイク/**

自転車 (Motorcycle/Bicycle)：二輪車（バイク・自転車など）に反応。必要に応じて、いずれかまたはすべてを選択可能。検出対象が選択されていない場合は、ライン横断検出が有効でもアラームは発生しません。

持続接続によるターゲット軌跡の送信：有効にすると、ターゲットを検出した際に移動座標（ターゲット軌跡）をAPIテストツールへ送信します。無効の場合は、アラームが発生し

たときのみ送信されます。

2. アラーム保持時間を設定します。
3. ラインクロス検出のアラームラインと対象サイズフィルターを設定します。

アラームラインの番号と方向を設定します（最大 4 本まで追加可能。ただし同時に複数のラインを描画することはできません）。

方向設定： - **A<->B** : A→B または B→A どちらの方向でも横断するとアラームが発生します。

A→B : A 側から B 側への横断時のみアラームが発生します。

A←B : B 側から A 側への横断時のみアラームが発生します。「エリア描画」ボタンをクリックし、画像上でマウスをドラッグしてラインを描きます。「描画停止」ボタンで描画を終了し、「クリア」ボタンでラインを削除、「保存」ボタンで設定を保存します。

ターゲットサイズフィルターの設定：

「ターゲットサイズを描画（Draw Target Size）」をクリックし、最小・最大の検出対象サイズを画像上で描画します。



The screenshot shows a camera view of a parking lot with several cars. A green rectangle highlights a white car, and a yellow rectangle highlights a smaller white car. To the right is a control panel with the following settings:

Alarm Area			
Alarm Area	1		
Target Size Filter			
Target	Motor Vehicle		
Min Size Width	14 %	Height	9 %
Max Size Width	90 %	Height	90 %

At the bottom of the control panel are three buttons: 'Draw Area', 'Clear', and 'Draw Target Size'.

対象（ターゲット）：「人」、「自動車」、または「オートバイ/自転車」の中から、必要に応じて選択します。

緑色の枠は検出可能な対象の最大サイズを示し、黄色の枠は最小サイズを示します。

緑色の枠をクリックすると、検出対象の最大サイズ枠を編集できます。黄色の枠をクリックすると、最小サイズ枠を編集できます。

緑色または黄色の枠の四隅のいずれかをドラッグして、枠のサイズを変更します。

右側に表示される対応するサイズ値も変更されます。数値を直接入力することでも、枠のサイズを変更できます。緑色または黄色の枠をクリックしてドラッグすることで、その位置を移動させることができます。

最後に、「保存」をクリックして設定を保存します。

対象サイズ範囲を設定した後は、最小値と最大値の間に該当するサイズの対象のみが検出されます。

4. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

5. ラインクロス検出のスケジュールを設定します。スケジュール設定手順は、モーション検出のスケジュール設定と同じです（詳細は「モーション検出」セクションを参照してください）。

6. 「連動」をクリックしてアラーム連動項目を設定します。

設定手順はモーション検出と同じです。「モーション検出」セクションを参照してください。

※ カメラおよび周囲環境の設定要件

1. ラインクロス検出を行う場合、オートフォーカス機能は無効にしてください。

2. 木が多い場所や、光の変化が激しい場所（例：ヘッドライトが点滅するような場所）は避けてください。シーンの明るさが極端に暗くならないようにしてください。

3. カメラの設置高さは2.8メートル以上が推奨されます。

4. カメラのアングルは30°～45°が理想的です（屋外設置例を参照）。

歩行者の場合、頭部および胴体が映像内ではっきり見えるようにしてください。



車両の場合、俯角は推奨値を超えないようにしてください。映像では横方向または水平方向の視野角が推奨されます（以下参照）



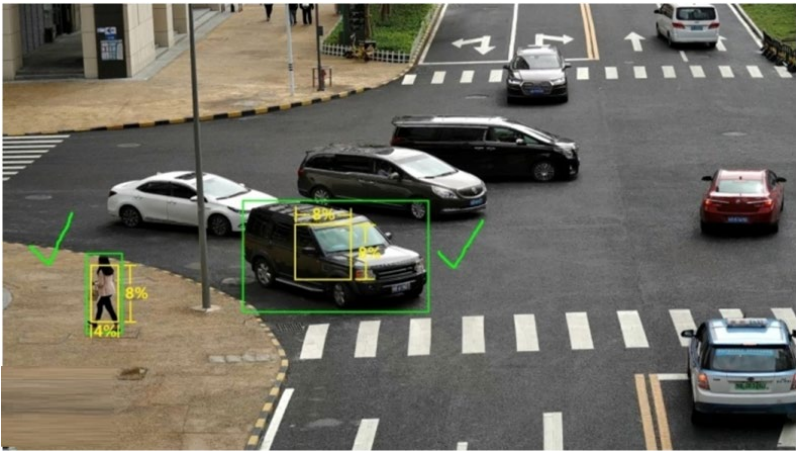
5. カメラが検出エリア内の対象物を少なくとも2秒間は確認できるようにしてください。これにより、正確な検出が可能になります。

6. ラインクロス検出には十分な明るさと明瞭な景観が重要です。
7. 対象認識サイズの要件を満たすために、設置位置やフォーカスを調整してください。

推奨対象認識サイズ：

パーセンテージ	人間	自動車	オートバイ/自転車
最小 (幅×身長)	4% × 8%	8% × 8%	4% × 4%
最大 (幅×身長)	50%×50%	50%×50%	50%×50%

メモ： パーセンテージは、対象が画像全体の何パーセントを占めるかを示しています。例えば、1080P（1920×1080）のビデオ画像の場合、人間の最小解像度は 80×160 となります（ $w = 1920 \times 4\% = 80$, $h = 1920 \times 8\% = 160$ ）。



正しい例

ターゲット認識ボックスが、最小サイズの要件を満たしている必要があります。黄色のボックスは最小認識サイズを表し、緑のボックスは設定されたターゲットボックスを表します。



間違っただ例

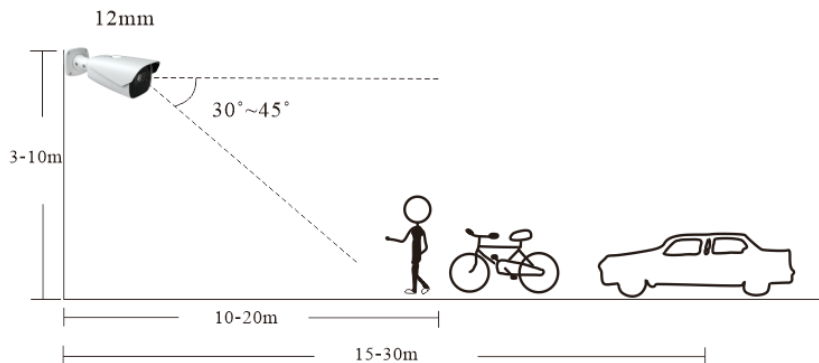
黄色の枠は最小認識サイズを示します。緑色の枠は設定された対象枠を示します。これらの2つの対象認識枠は最小サイズの要件を満たしていません。したがって、カメラの位置やフォーカスを必要に応じて調整する必要があります。

8. インストールの提案:

屋外設置:

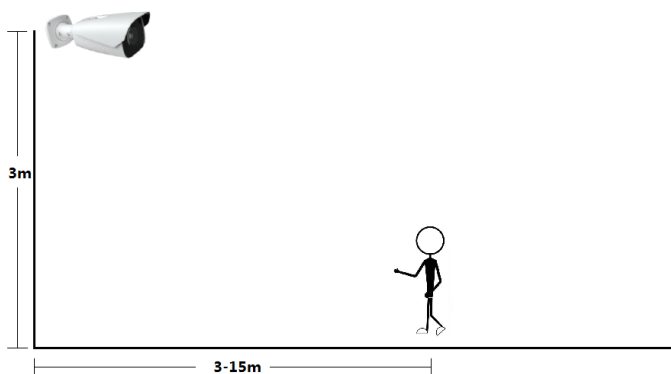
最適な検出距離は焦点距離によって異なります。以下の表をご参照ください。

焦点距離	インストール 高さ (メートル)	人/バイク/自転車		自動車	
		最大距離 (m)	最適距離 (m)	最大距離 (m)	最適距離 (m)
2.8mm	3-10	8	4-8	15	10~15 歳
3.6mm	3-10	10	5-10	20	15~20 歳
12mm	3-10	25	10~20	35	15~30
22mm	3-10	45	30~40	70	20~50



焦点距離 12mm の例

屋内設置



3.4.2 地域侵入

領域侵入：対象が事前に定義されたエリアに侵入すると、アラームがトリガーされます。この機能は、重要な監視場所、危険エリア、禁止区域などに適用できます。例えば、軍事管理区域、高危険エリア、人が立ち入れない区域などです。

Detection Config
Schedule
Linkage

Enable

Save Original Picture To SD Card

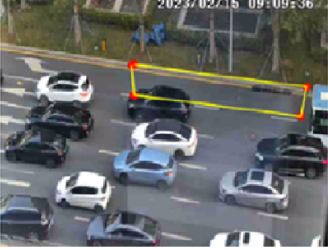
Save Target Picture To SD Card

Detection target and sensitivity

Target	Sensitivity	
<input checked="" type="checkbox"/> Human	<input style="width: 80%;" type="range"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> Motor Vehicle	<input style="width: 80%;" type="range"/>	50
<input checked="" type="checkbox"/> Motorcycle/Bicycle	<input style="width: 80%;" type="range"/>	50

Push target trajectory with a persistent connection

Alarm Holding Time 3 Seconds



Draw Area
Clear
Draw Target Size

Alarm Area
Alarm Area 1

Target Size Filter

Target Human

Min Size Width	1 %	Height	1 %
Max Size Width	90 %	Height	90 %

Save

1. 領域侵入検出を有効にし、スナップショットタイプと検出対象を選択します。

SD カードにオリジナル画像を保存： これを有効にすると、対象が事前に定義されたエリアに侵入した際に、検出されたオリジナルの画像がキャプチャされ、SD カードに保存されます。

SD カードに対象画像を保存： これを有効にすると、対象が事前に定義されたエリアに侵入した際に、検出された対象の切り抜き画像がキャプチャされ、SD カードに保存されます。

メモ： スナップショットをローカル PC に保存するには、まずローカル設定で「ローカルスマートスナップショットストレージ」を有効にしてください。スナップショットを SD カードに保存するには、まず SD カードをインストールしてください。

検出対象：

人(Human)： 選択すると、誰かが事前に定義されたエリアに侵入した場合にアラームがトリガーされます。

自動車： 選択すると、四輪以上の車両（例：自動車、バス、トラック）が事前に定義されたエリアに侵入した場合にアラームがトリガーされます。

オートバイ/自転車： 選択すると、二輪の車両（例：オートバイ、自転車）が事前に定義されたエリアに侵入した場合にアラームがトリガーされます。

これら 3 つの対象は同時に選択できます。必要に応じて検出対象を選んでください。対象が選択されていない場合、侵入検出が有効でもアラームはトリガーされません。

持続的接続で対象の軌跡をプッシュ：

対象の軌跡（移動座標）を API テストツールに持続的接続でプッシュします。これを有効にすると、対象が検出されるとシステムは対象の軌跡をプッシュします。無効にすると、領域侵入アラームがトリガーされた場合のみ対象の軌跡がプッシュされます。

2. アラーム保持時間を設定します。

3. 領域侵入検出のアラームエリアと対象サイズフィルタを設定します。

アラームエリアの番号を設定します。4 つのアラームエリアを追加できます。

「エリア描画」ボタンをクリックし、画像内でアラームエリアとして設定したい場所をクリックします（アラームエリアは閉じたエリアである必要があります）。「描画停止」ボタンをクリックすると描画が停止します。「クリア」ボタンをクリックするとアラームエリアを削除できます。「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

対象サイズフィルタ設定： 対象サイズフィルタの設定手順は、ラインクロスの対象サイズフィルタ設定と同じです（詳細はラインクロスを参照してください）。

4. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

5. 領域侵入検出のスケジュールを設定します。スケジュール設定手順は、モーション検出のスケジュール設定と同じです（詳細は「モーション検出」セクションを参照してください）。

6. 「連動」をクリックしてアラーム連動項目を設定します。

設定手順はモーション検出と同様です。「モーション検出」セクションを参照してください。

※カメラおよび周辺エリアの設定要件

要件はラインクロス検知と同様です。詳細については、ラインクロス検知におけるカメラと周辺エリアの設定要件を参照してください。

3.5 ネットワーク構成

3.5.2 TCP/IP

「設定」→「ネットワーク」→「TCP/IP インターフェース」に進みます（下記参照）。ネットワーク接続には 2 つの方法があります。」

IPv4	IPv6	PPPoE Config	IP Change Notification Config
<input type="radio"/> Obtain an IP address automatically			
<input checked="" type="radio"/> Use the following IP address			
IP Address	192.168.226.201		Test
Subnet Mask	255.255.255.0		
Gateway	192.168.226.1		
Preferred DNS Server	192.168.226.1		
Alternate DNS Server	8.8.8.8		
			Save

IP アドレスの使用（例：IPv4）

IP 設定には 2 つのオプションがあります：


より自動的に IP アドレスを取得する。以下の IP アドレスを使用する必要に応じて、いずれかのオプションを選択してください。

テスト： このボタンをクリックして、IP アドレスの有効性をテストします。

PPPoE の使用：

「PPPoE 設定」タブをクリックして、以下のインターフェースに進みます。

「編集」をクリックして、PPPoE を有効にし、ISP から提供されたユーザー名とパスワードを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE Config	IP Change Notification Config
<input type="checkbox"/> Enable			
User Name	<input type="text"/>		
Password	<input type="password"/>		
			 Edit

いずれのネットワーク接続方法も使用可能です。PPPoE を使用してインターネットに接続する場合、カメラは動的な WAN IP アドレスを取得します。この IP アドレスは頻繁に変更されるため、通知を受け取るには「IP 変更通知」機能を使用してください。

「**IP 変更通知設定**」をクリックすると、以下のような設定画面が表示されます。

IPv4	IPv6	PPPoE Config	IP Change Notification Config
<input type="checkbox"/> Trigger Email			
<input type="checkbox"/> Trigger FTP			
<input type="button" value="Save"/>			

トリガー メール: デバイスの IP アドレスが変更されると、新しい IP アドレスが設定されたメールアドレスに送信されます。

トリガー FTP : デバイスの IP アドレスが変更されると、新しい IP アドレスが設定されている FTP サーバーに送信されます。

3.5.3 ポート

「設定」→「ネットワーク」→「ポート」: HTTP ポート、データポート、RTSP ポートの設定が可能です。(下図参照)

HTTP Port	<input type="text" value="80"/>	
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/>	
Data Port	<input type="text" value="9008"/>	
RTSP Port	<input type="text" value="554"/>	
Persistent connection Port	<input type="text" value="8080"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
WebSocket Port	<input type="text" value="7681"/>	
<input type="button" value="Save"/>		

HTTP ポート: デフォルトの HTTP ポートは 80 です。他の使用中でないポートに変更可能です。

HTTPS ポート: デフォルトの HTTPS ポートは 443 です。他の使用中でないポートに変更可能です。

データポート: デフォルトのデータポートは 9008 です。必要に応じて変更してください。

RTSP ポート: デフォルトのポートは 554 です。必要に応じて変更してください。

継続接続ポート: サードパーティプラットフォームと持続的な接続を行い、顔画像などのスマートデータをプッシュするためのポートです。

WebSocket ポート: プラグイン不要のプレビューに使用される通信プロトコル用ポートです。

3.5.4 サーバー設定

この機能は主に、ネットワークビデオ管理システム（NVMS）との接続に使用されます。

<input type="checkbox"/> Enable	
Server Port	2009
Server Address	
Device ID	1
 <input type="button" value="Edit"/>	

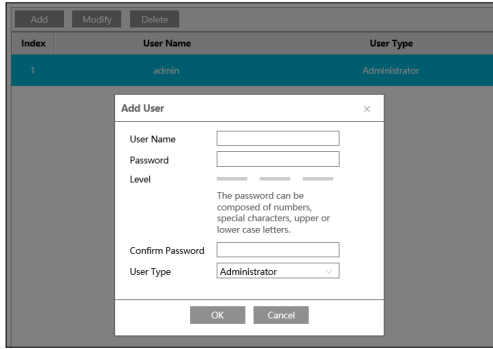
1. 「編集」をクリックし、「有効にする」にチェックを入れます。
2. NVMS（ネットワークビデオ管理システム）で、転送メディアサーバーの IP アドレスとポート番号を確認します。その後、NVMS で新しいデバイスを追加する際に「自動報告（Auto Report）」を有効にし、デバイスの残りの情報を入力します。その後、システムが自動的にデバイス ID を割り当てますので、NVMS で確認してください。
3. 上記のサーバーアドレス、サーバーポート、デバイス ID をそれぞれ対応する入力欄に入力します。「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。必要に応じて、機密情報の表示／非表示を切り替えることも可能です。

3.5.5 Onvif

カメラは、ONVIF/RTSP プロトコルを通じて、サードパーティプラットフォームに検索および接続することができます。

「ONVIF パスワードを一致させる」がデバイスのアクティベーションインターフェースで有効になっている場合、ONVIF の管理者ユーザーのパスワードを同時に変更することができます。サードパーティプラットフォームで ONVIF プロトコルを通じてカメラに接続する際、この ONVIF ユーザーを使用して接続できます。

また、以下のインターフェースで管理者のパスワードを個別に変更したり、ONVIF インターフェースで新しいユーザーを追加したりすることも可能です。

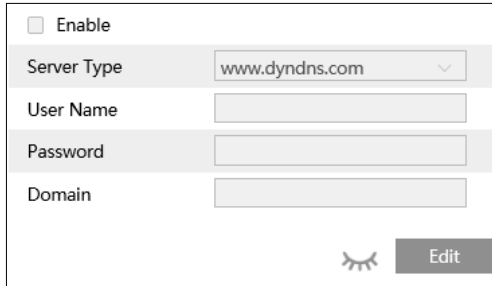


注意: ONVIF/RTSP プロトコルを使用してデバイスをサードパーティプラットフォームに追加する場合は、上記のインターフェイスで onvif ユーザーを使用してください。

3.5.6 DDNS

カメラが DHCP 接続で設定されている場合、インターネット用に DDNS を設定する必要があります

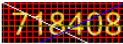
1. 「設定」→「ネットワーク」→「DDNS」に進みます。



2. ドメイン名を申請します。例えば、www.dvrdyndns.com を使用します。

IE のアドレスバーに「www.dvrdyndns.com」と入力して、そのウェブサイトへアクセスします。次に、「登録」ボタンをクリックします。

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text" value="XXXX"/>
PASSWORD	<input type="password" value="•••••"/> ?
PASSWORD CONFIRM	<input type="password" value="•••••"/>
FIRST NAME	<input type="text" value="xxx"/>
LAST NAME	<input type="text" value="xxx"/>
SECURITY QUESTION	My first phone number. ▾
ANSWER	<input type="text" value="xxxxxxx"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	 New Captcha <input type="text"/> Enter the text you see above
<input type="button" value="Submit"/> <input type="button" value="Reset"/>	

ドメイン名を作成します。

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9). Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

ドメイン名の申請が正常に完了すると、ドメイン名は以下のように表示されます。

Search by Domain:

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
654321ABC	✔	654321abc.dvrdydns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 210.21.229.138

[Create additional domain names](#)

3. 「編集」をクリックし、DDNS 設定インターフェースで申請するユーザー名、パスワード、ドメインを入力します。
4. 「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

3.5.7 SNMP

カメラのステータス、パラメータ、アラーム情報を取得し、リモートでカメラを管理するには、SNMP 機能を使用できます。SNMP を使用する前に、SNMP 管理ツールをインストールし、SNMP ポートやト

ラップを設定してください。

1. 「設定」→「ネットワーク」→「SNMP」に進みます。

SNMP v1/v2	
<input type="checkbox"/> Enable SNMPv1	
<input type="checkbox"/> Enable SNMPv2	
Read SNMP Community	public
Write SNMP Community	private
Trap Address	192. ***. ***. 201
Trap Port	162
Trap community	public
SNMP v3	
<input type="checkbox"/> Enable SNMPv3	
Read User Name	public
Security Level	auth, priv
Authentication Algorithm	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
Authentication Password	●●●●●●
Private-key Algorithm	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
Private-key Algorithm	●●●●●●
Write User Name	private
Security Level	auth, priv
Authentication Algorithm	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
Authentication Password	●●●●●●
Private-key Algorithm	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
Private-key Algorithm	●●●●●●
Other Settings	
SNMP Port	161
 <input type="button" value="Edit"/>	

2. 「編集」をクリックし、使用する SNMP ソフトウェアのバージョンに応じて、対応するバージョンのチェックボックス（SNMPv1 を有効にする、SNMPv2 を有効にする、SNMPv3 を有効にする）にチェックを入れます。

3. 「読み取り SNMP コミュニティ」、「書き込み SNMP コミュニティ」、「トラップアドレス」、「トラップポート」などの値を設定します。これらの設定が SNMP ソフトウェアの設定と一致していることを確認してください。

注意：セキュリティレベルに応じて、適切なバージョンを使用してください。バージョンが高いほど、セキュリティレベルも高くなります。

3.5.8 802.1x

これが有効になっている場合、カメラのデータは保護されます。カメラが IEEE802.1x で保護されたネットワークに接続されると、ユーザー認証が必要になります。

<input checked="" type="checkbox"/> Enable	
Protocol Type	EAP_MD5
EAPOL Version	1
User Name	<input type="text"/>
Password	<input type="password"/>
Confirm Password	<input type="password"/>
<input type="button" value="Save"/>	

この機能を使用するには、カメラを 802.1x プロトコルに対応したスイッチに接続する必要があります。スイッチは、ローカルネットワーク内のデバイスを識別する認証システムとして機能します。カメラがスイッチのネットワークインターフェースに接続され、スイッチの認証に合格すれば、ローカルネットワークを通じてアクセスできます。

「編集」をクリックして設定を開始します。

プロトコルタイプと EAPOL バージョン： 必要に応じて設定してください。

ユーザー名とパスワード： ユーザー名とパスワードは、認証サーバーに申し込んで登録したものと一致する必要があります。

3.5.9 RTSP

「設定」→「ネットワーク」→「RTSP」に進みます。

<input checked="" type="checkbox"/> Enable			
Port	<input type="text" value="554"/>		
Address	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>		
Multicast address			
Main stream	<input type="text" value="239. ***. ***.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> Automatic start
Sub stream	<input type="text" value="239. ***. ***.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> Automatic start
Third stream	<input type="text" value="239. ***. ***.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> Automatic start
Audio	<input type="text" value="239. ***. ***.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> Automatic start
<input type="checkbox"/> Allow anonymous login (No username or password required)			
			<input type="button" value="Edit"/>

「編集」をクリックし、「有効」を選択して RTSP 機能を有効にします。

ポート: ストリーミングメディアのアクセスポート。デフォルトは 554 です。

RTSP アドレス: メディアプレーヤーでストリームを再生するために使用できる RTSP アドレス（ユニキャスト）形式。

マルチキャストアドレス

メインストリーム: アドレスの形式は

「rtsp://IP アドレス:rtsp ポート/profile1?transportmode=mcast」。

サブストリーム: アドレスの形式は

「rtsp://IP アドレス:rtsp ポート/profile2?transportmode=mcast」。

3 番目のストリーム: アドレスの形式は

「rtsp://IP アドレス:rtsp ポート/profile3?transportmode=mcast」。

注意: 一部のモデルではサード ストリームがサポートされない場合があります。

オーディオ: VLC プレーヤーでメイン/サブ ストリームを入力すると、ビデオとオーディオが自動的に再生されます。

「匿名ログインを許可する…」にチェックが入っている場合は、ビデオを視聴するためにユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。

「自動開始」が有効になっている場合は、マルチキャスト受信データを VLC プレーヤーに追加してビデオを再生する必要があります。

メモ: 1. このカメラは VLC プレーヤーを介したローカルビデオプレビューをサポートしています。VLC プレーヤーに RTSP アドレス（ユニキャストまたはマルチキャスト、例: rtsp://192.168.226.201:554/profile1?transportmode=mcast）を入力すると、Web クライアントとの同時ビデオプレビューが可能になります。

2. 上記の IP アドレスは IPv6 のアドレスでは使用できません。


3. 同じローカルネットワーク内で同じマルチキャストアドレスを使用しないでください。

4. VLC プレーヤーでマルチキャストストリームを再生する場合、VLC プレーヤーのモードに注意してください。TCP モードに設定されている場合、ビデオは再生されません。
5. メインストリームのビデオコーディング形式が MJPEG の場合、一部の解像度ではビデオが乱れることがあります。

3.5.10 RTMP

RTMP プロトコルを使用することで、YouTube などのサードパーティサービスを通じてライブ映像を配信できます。

「設定」→「ネットワーク」→「RTMP」に進みます。

<input type="checkbox"/> Enable
Stream Type: <input checked="" type="radio"/> Main stream <input type="radio"/> Sub stream <input type="radio"/> Third stream
Reconnect After Timeout: <input type="text" value="30"/> Second
Server Address: <input type="text" value="example: rtmp://127.***.***.1:1935/live"/>
Connection Status: Not Connected <input type="button" value="Refresh"/>
 <input type="button" value="Edit"/>

「編集」をクリックし、「有効にする」にチェックを入れ、ストリームタイプを選択し、タイムアウト後の再接続時間やサーバーアドレスを必要に応じて設定します。

サーバーアドレス： サードパーティのサーバーから割り当てられたサーバーアドレスを入力します。その後、「保存」をクリックして設定を保存します。続けて「更新」をクリックすると、接続状況を確認できます。

3.5.11 UPnP

この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラに素早くアクセスできます。

「ネットワーク」→「UPnP」に進みます。UPnP を有効にして、UPnP 名を入力します。


<input checked="" type="checkbox"/> Enable
UPnP Name: <input type="text"/>
<input type="button" value="Save"/>

3.5.12 メール

アラーム発生時や IP アドレスの変更時にメール通知を行いたい場合は、まずここでメール設定を行

ってください。

「設定」→「ネットワーク」→「メール」に進みます。

Sender	
Sender Address	<input type="text"/>
User Name	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> Anonymous Login
Password	<input type="password"/>
Server Address	<input type="text"/>
Secure Connection	Unnecessary
SMTP Port	25
<input type="checkbox"/> Send Interval(S)	60 (10-3600)
Recipient	
<input type="text"/>	
 <input type="button" value="Edit and Test"/>	

「編集とテスト」をクリックして、送信者および受信者の設定を行います。

送信者アドレス： 送信元のメールアドレス。

ユーザー名とパスワード： 送信者のユーザー名とパスワード（「匿名ログイン」が有効な場合は、入力の必要はありません）。

サーバーアドレス： SMTP の IP アドレスまたはホスト名。

セキュア接続： 必要に応じて、「セキュア接続」のプルダウンリストから接続方式を選択してください。

SMTP ポート： SMTP のポート番号。

送信間隔（秒）： メール送信の間隔時間。例：60 秒に設定されている場合、60 秒以内に複数のモーション検知アラームが発生しても 1 つのアラームイベントと見なされ、1 通のみ送信されます。60 秒後に別のアラームが発生した場合は、2 通送信されます。異なる種類のアラームが同時に発生した場合は、それぞれ別のメールが送信されます。

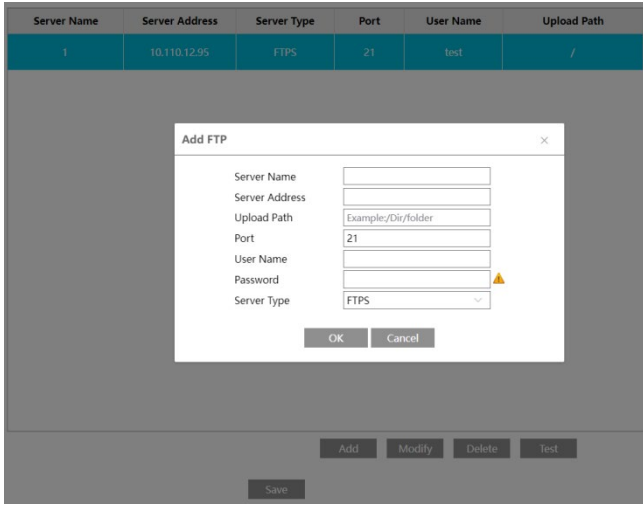
「テスト」ボタンをクリックして、アカウント接続をテストします。

受信者アドレス： 受信先のメールアドレス。

3.5.13 FTP

FTP サーバーを設定すると、イベントで撮影された画像が FTP サーバーにアップロードされます。

1. 「設定」→「ネットワーク」→「FTP」へ移動します。



2. 「編集とテスト」をクリックし、「追加」をクリックして FTP の情報を入力します。その後、「保存」をクリックして設定を保存します。

サーバー名： FTP サーバーの名前

サーバーアドレス： FTP の IP アドレスまたはドメイン名

アップロードパス： ファイルをアップロードするディレクトリ

ポート： FTP サーバーのポート番号

ユーザー名とパスワード： FTP サーバーへのログインに使用するユーザー名とパスワード

3. イベント設定画面（例：領域侵入、ラインクロスングなど）にて、FTP を**トリガー**として設定してください（下図参照）。

Alarm Holding Time	3 Seconds	
<input type="checkbox"/> Trigger Email		
<input checked="" type="checkbox"/> Trigger FTP		
Server Name	Server Address	
<input checked="" type="checkbox"/> FTP	192.***.***.3	<input type="checkbox"/> Attach Picture

FTP 保存パスのルール：

/デバイスの MAC アドレス/イベント種別/日付/時間/

例： モーションアラームが発生した場合

FTP ファイルパス： ¥00-18-ae-a8-da-2a¥MOTION¥2021-01-09¥14¥

イベント名一覧：

ファイル名	イベントタイプ
IP	IP アドレスの変更
モーション	動き検出
AVD	ビデオ例外
トリップワイヤー	線路横断検出
周囲	地域侵入検知
OSC	放棄された/行方不明の物体

TXT ファイルの内容：

デバイス名: xxx mac: デバイスの MAC アドレス イベントタイプ時間:

例えば：

デバイス名: IPC mac: 00-18-ae-a8-da-2a MOTION 時間: 2021-03-16 12:20:07

3.5.14 HTTP ポスト

「設定」→「Network」→「HTTP POST」に進みます。

1. 「編集」をクリックします。
2. 「追加」をクリックし HTTP POST を追加します。

プロトコルの種類: HTTP

ドメイン/IP: サードパーティプラットフォームの IP アドレス/ドメイン名。

サーバーポート： サードパーティープラットフォームのサーバーポートを入力します。

パス： 上記サーバーのサブドメインを入力します。例えば、アラーム情報の送信先 URL が「/SendAlarmStatus」のような形式になります。

ユーザー名とパスワード： 必要に応じて有効化し、入力してください。

「ハートビート送信」を有効化し、必要に応じてハートビートの間隔を設定します。

上記のパラメータを設定後、「保存」をクリックして設定を保存します。URL を 1 つ選択して「テスト」をクリックすると、その URL への接続をテストできます。その後、カメラは自動的にサードパーティープラットフォームと接続されます。接続後のオンライン状態は、上記インターフェースで確認できます。

カメラの接続が正常に完了すると、設定されたスマートアラームがトリガーされた際に、選択されたアラームデータがサードパーティープラットフォームに送信されます

3.5.15 HTTPS

HTTPS は、ウェブサイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。

「設定」→「ネットワーク」→「HTTPS」に進みます（下図参照）。

The screenshot shows a configuration window for HTTPS. At the top, there is a checked checkbox labeled 'Enable' and an unchecked checkbox labeled 'Disable HTTP'. Below this, the 'Certificate installed' field displays 'C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware' with a 'Delete' button to its right. The 'Attribute' field shows a detailed certificate information box: 'Issued to: C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware, H=IPC, Issuer: C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware, H=Root CA, Validity date: 2023-07-27 10:12:19 - 2033-07-24 10:12:19'. A 'Save' button is located at the bottom right of the window.

デフォルトで証明書がインストールされています（上図参照）。この機能を有効にして保存するカメラはウェブブラウザで https://IP: https ポートを入力することによりアクセス可能になり（例： https://192.168.226.201:443）。

デフォルトの証明書を使用したくない場合は、ユーザーがプライベート証明書を作成することもできます。デフォルトの証明書をキャンセルするには、「削除」をクリックします。そうすると、以下のインターフェースが表示されます。

The screenshot shows a configuration window for HTTPS installation. At the top, there is an unchecked checkbox labeled 'Enable'. Below this, the 'Installation type' section has three radio button options: 'Have signed certificate, install directly' (which is selected), 'Create a private certificate', and 'Create a certificate request'. The 'Install certificate' section contains a 'Choose File' button, a text field showing 'No file chosen', and an 'Install' button. A 'Save' button is located at the bottom right of the window.

* 署名済み証明書がある場合、「ファイルを選択」をクリックして証明書を選択し、「インストール」をクリックしてインストールします。

* 「プライベート証明書を作成」をクリックすると、以下の作成インターフェースに進みます。

「作成」ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。次に、国（2文字のみ）、ドメイン（カメラのIPアドレス/ドメイン）、有効期限、パスワード、州/都道府県、地域などを入力します。その後、「OK」をクリックして設定を保存します。

* 「証明書リクエストを作成」をクリックすると、以下のインターフェースに進みます。

「作成」をクリックして証明書リクエストを作成します。その後、証明書リクエストをダウンロードし、信頼された証明書機関に提出して署名を依頼します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。

3.5.16 P2P

この機能を有効にすると、モバイル監視クライアントで QR コードをスキャンすることで、ネットワークカメラに WAN 経由で素早くアクセスできます。

この機能を有効にするには、[設定] → [ネットワーク] → [P2P インターフェース]に進みます。機能を有効にした後、オンライン状態を確認できます。

3.5.17 QoS

QoS（サービス品質）機能は、ネットワークアプリケーションごとに異なるサービス品質を提供するために使用されます。

帯域幅が不足している場合でも、この機能を使用することで、ルーターやスイッチがデータストリームを優先度に応じて分類・転送し、ネットワークの遅延や混雑を解消できます。

[設定] → [ネットワーク] → [QoS] に進んで設定を行ってください。

Video/Audio DSCP	13
Alarm DSCP	35
Manager DSCP	53

ビデオ/オーディオ DSCP: 範囲は 0 ~ 63 です。

アラーム DSCP: 範囲は 0 ~ 63 です。

マネージャ DSCP: 範囲は 0 ~ 63 です。

一般的に、数字が大きいほど優先度が高くなります。

3.5.18 クラウドアップグレード

メモ：クラウドアップグレードを使用する前に、P2P が正常に有効になっていることを確認してください。クラウドサーバーから最新バージョンがプッシュされると、カメラまたは NVR を通じてアップグレードを行うことができます。

1. **[設定] → [ネットワーク] → [クラウドアップグレード]** に進みます。
2. クラウドアップグレードオプションで「通知のみ」を選択するか、「手動チェック」をクリックして現在のバージョンが最新かどうか確認します。

お使いのソフトウェアバージョンが最新でない場合は、「アップグレード」をクリックしてクラウドサーバーからダウンロードおよびアップグレードを実行してください。

クラウドアップグレード時の注意点は、ローカルアップグレード時と同様です（詳細は「アップグレード」セクションを参照してください）。

3.6 セキュリティ構成

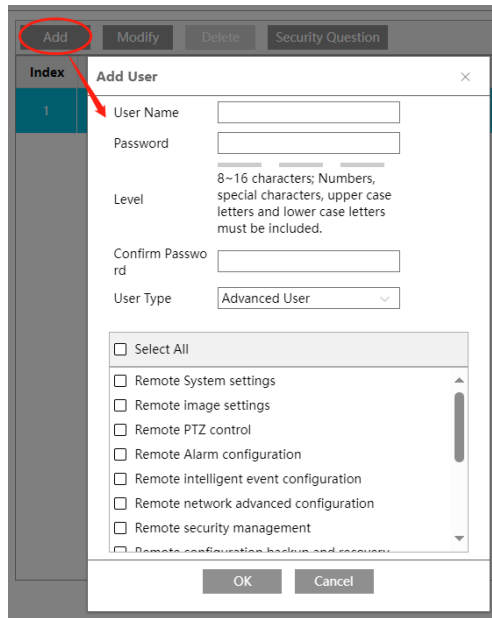
3.6.2 ユーザー設定

[設定] → [セキュリティ] → [ユーザー] に進みます。次の図のように操作してください。

Index	User Name	User Type
1	admin	Administrator

ユーザーを追加:

1. 「追加」ボタンをクリックすると、次のテキストボックスがポップアップ表示されます。



2. 「ユーザー名」テキストボックスにユーザー名を入力します。
3. 「パスワード」と「パスワード確認」テキストボックスにパスワードを入力します。パスワードは、パスワードのセキュリティレベル要件に従って設定してください（[設定] → [セキュリティ] → [セキュリティ管理] → [パスワードセキュリティ] でレベル設定が可能です）。
4. ユーザータイプを選択し、必要なユーザー権限にチェックを入れます。
5. 「OK」ボタンをクリックすると、新しく追加されたユーザーがユーザーリストに表示されます。

ユーザーの修正:

1. ユーザー設定リストボックスから、パスワードを変更したいユーザーを選択します。
2. 「変更」ボタンをクリックすると、「ユーザー編集」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「古いパスワード」テキストボックスにユーザーの古いパスワードを入力します。
4. 「新しいパスワード」と「パスワードの確認」のテキストボックスに新しいパスワードを入力します。
5. 上級ユーザーまたは通常ユーザーのユーザー権限を選択します。
6. 「OK」ボタンをクリックして設定を保存します。

ユーザーを削除:

ユーザー構成リストボックスで削除するユーザーを選択します。

2. 「削除」ボタンをクリックしてユーザーを削除します。

注意: デフォルトの管理者アカウントは削除できません。

安全質問設定: パスワードを忘れた場合に管理者がパスワードをリセットできるよう、質問と回答を設定します。

3.6.3 オンラインユーザー

「設定」->「セキュリティ」->「オンラインユーザー」に移動して、ライブビデオを視聴しているユーザーを確認します。

Index	Client Address	Port	User Name	User Type	
1	192.168.17.232	55760	admin	Administrator	Kick Out

管理者ユーザーは、他のユーザー（他の管理者を含む）を全員強制退出させることができます。

3.6.4 ブロックリストと許可リスト

「設定」->「セキュリティ」->「ブロックリストと許可リスト」に移動します。

設定手順は以下の通りです：

「アドレスフィルタリングを有効にする」チェックボックスをオンにします。

「以下のアドレスをブロック/許可する」を選択し、IPv4/IPv6を選んで、アドレスボックスに IP アドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。

3.6.5 セキュリティ管理

「設定」->「セキュリティ」->「セキュリティ管理」に移動します。

悪意のあるパスワード解除を防止するために、「不正ログインロック」機能をここで有効にすることができます。この機能が有効になっている場合、5 回ログインに失敗するとログイン画面がロックされます。カメラは、30 分後またはカメラを再起動後に再度ログインできます。

トリガメール：有効にすると、ログイン/ログアウト時や不正ログインロックが発生した際に、メールが送信されます。

● パスワードのセキュリティ

Security Service	Password Security	Authentication
Password Level	Weak	
Expiration Time	Never	
Save		

必要に応じてパスワードのレベルと有効期限を設定してください。

パスワードのレベル：弱い、中程度、または強い。

弱レベル：数字、特殊文字、大文字または小文字の英字が使用できます。パスワード設定時に、これらのいずれか、または複数の組み合わせを選択できます。

中級レベル：数字、特殊文字、大文字、小文字のうち少なくとも 2 つのカテゴリを含む 8～16 文字。

上級レベル：8～16 文字。数字、特殊文字、大文字、小文字を含める必要があります。

アカウントのセキュリティを確保するため、強力なパスワードを設定し、定期的にパスワードを変更することをお勧めします。

HTTP/RTSP 認証：基本またはトークンを選択できます。

Security Service	Password Security	Authentication
RTSP Authentication	Basic	
HTTP Authentication	Basic	
Save		

3.7 メンテナンス設定

3.7.2 バックアップと復元

「構成」→「メンテナンス」→「バックアップと復元」に進みます。

The screenshot displays a web interface for camera maintenance settings, organized into four distinct sections:

- Import Setting:** Features a 'Path' field with a 'Choose File' button and the text 'No file chosen'. Below the field is an 'Import Setting' button.
- Export Settings:** Contains a single 'Export Settings' button.
- Restore Default Parameters:** Includes a 'Keep' section with three unchecked checkboxes: 'Network Config', 'Security Configuration', and 'Image Configuration'. A 'Restore Default Parameters' button is located below the checkboxes.
- Restore Factory Settings:** Contains a single 'Restore Factory Settings' button.

● インポートとエクスポートの設定

カメラの設定は、1 台のカメラから別のカメラにエクスポートできます。

1. 「ファイル選択」をクリックして、PC 上でインポートまたはエクスポートする情報の保存先を選択します。
2. 「設定のインポート」または「設定のエクスポート」ボタンをクリックします。

注意：「設定のインポート」ボタンをクリックした後、ログインパスワードを入力する必要があります。

● デフォルトパラメータを復元

「デフォルトのパラメータを復元」ボタンをクリックし、パスワードを確認した後、保持したい設定を除いて、すべてのパラメータをデフォルト設定に復元します。

● 工場出荷時の設定に戻す

「工場出荷時の設定に戻す」ボタンをクリックし、パスワードを確認して、すべてのシステム設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

3.7.3 リブート

「設定」→「メンテナンス」→「再起動」に移動します。

「再起動」ボタンをクリックし、パスワードを入力してデバイスを再起動します。

時間指定再起動設定:

必要に応じて、カメラを時間間隔で再起動するように設定できます。「時間設定」を有効にし、日付と時刻を設定後、「保存」ボタンをクリックし、パスワードを入力して設定を保存します。

3.7.4 アップグレード

「設定」→「メンテナンス」→「アップグレード」に進みます。このインターフェースでカメラのファームウェアをアップデートできます。

1. 「参照」ボタンをクリックして、アップグレードファイルの保存パスを選択します。
2. 「アップグレード」または「バックアップしてアップグレード」をクリックします。 ボタンを押してファームウェアのアップグレードを開始します。
3. 正しいパスワードを入力すると、デバイスが自動的に再起動します。

メモ: 「バックアップとアップグレード」を選択した場合、アップグレードを開始する前に構成ファイルがローカル PC にエクスポートされます。

注意:

1. 現在のバージョンから下位バージョンへのダウングレードは許可されません。
2. アップグレード中にブラウザをリフレッシュ/閉じる、またはカメラをネットワークから切断しないでください。 そうしないと、システムが正常に動作しなくなります。 デバイスが正常にアップグレードされた後、10 分間の観察時間があります。 この観察期間中にデバイスを再度アップグレードしないでください。

メモ: アップグレードのリスクを減らすために、一部のカメラは 2 つのシステムを採用しています。 一方のシステムが正常にアップグレードされると、もう一方のシステムも同期されます。 アップグレ

ード中に電源障害やその他の理由で 1 つのシステムが失敗した場合、もう一方のシステムには影響がなく、カメラは正常に動作し続けます。また、通常のシステムを使ってカメラをアップグレードすることもできます。

アップグレードログのエキスポート: アップグレードエラーが発生した場合、アップグレードログをエキスポートして、技術者が問題を分析し解決するのに役立てることができます。

3.7.5 操作ログ

ログを照会およびエキスポートするには:

1. 「設定」→「メンテナンス」→「操作ログ」に移動します。

Index	Time	Main Type	Sub Type	User Name	Login IP	Hostname
1	2021-09-06 03:1...	Operation	Log in	admin	10.20.52.7	
2	2021-09-06 03:1...	Operation	Log in	admin	10.20.52.7	

2. メインタイプ、サブタイプ、開始時刻と終了時刻を選択します。

3. 「検索」をクリックすると操作ログが表示します。

4. 「エキスポート」をクリックして操作ログをエキスポートします。

3.7.6 デバッグモード

デバッグモードは、必要なシステムデータを記録および収集するために使用され、技術者が問題を迅速に特定し分析するのを助け、サービスの改善にも役立ちます。

デバッグモードを有効にする前に、技術サポートに相談することをお勧めします。

Open Debug Mode

Debug Level

If the SD card is used as a dump device, SD card related services cannot be used

注意：SD カードがシステムデータの収集に使用されると、SD カードはスナップショットや録画ファイルの保存には使用されません。デバイスを再起動後、デバッグモードを無効にし、ストレージインターフェース（設定→システム→ストレージ→管理）で SD カードをフォーマットすると、SD カードはスナップショットや録画ファイルの保存に使用できるようになります。

3.7.7 メンテナンス情報

デバイスに障害が発生した場合、メンテナンス情報をエクスポートして技術者に送信することで、技術者が問題を迅速に特定し分析することができます。エクスポートするには、「設定」→「メンテナンス情報」に移動してください。

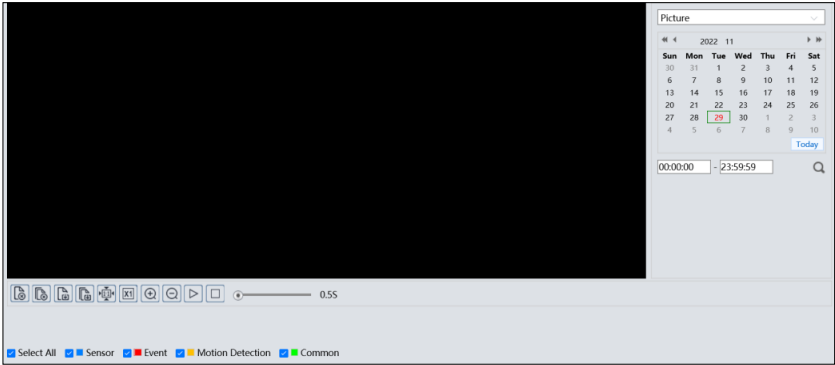
検索


4.1 画像検索

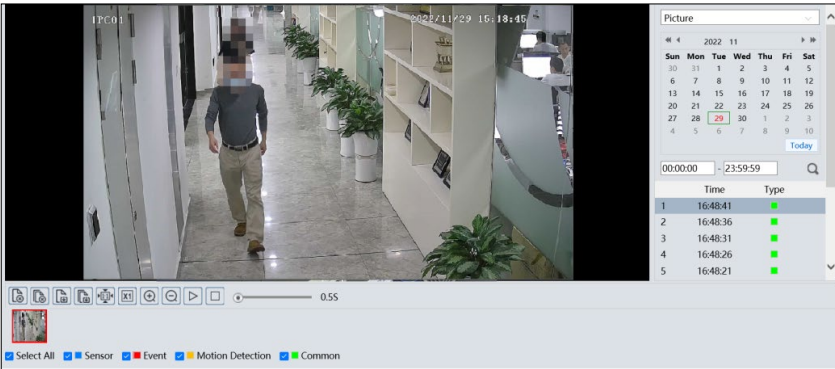
「検索」ボタンをクリックすると、以下のようなインターフェースに移動します。ここでは、SD カードに保存された画像を確認できます。

● SD カード画像検索





1. 「画像」を選択します。










2. 時間の設定：日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. インターフェースの下部にあるアラームイベントを選択します。
4. クリックし  画像を検索します。
5. リスト内のファイル名をダブルクリックすると、キャプチャした写真が表示されます。




各ボタンの説明は以下のとおりです。

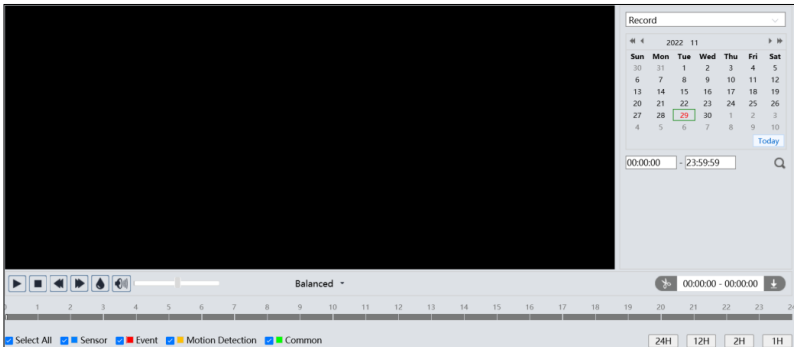
アイコン	説明	アイコン	説明
	閉じる:画像を選択し、このボタンをクリックすると画像が閉じます。		すべて閉じる: このボタンをクリックすると、すべての画像が閉じられます。
	保存: このボタンをクリックして、PC 上の画像を保存するパスを選択します。		PC 上のすべての画像を保存するパスが選択されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	サイズに合わせる: クリックして画像を画面に合わせます。		画像の実際のサイズが表示されます。
	ズームイン: このボタンをクリックすると、デジタルでズームインします。		ズームアウト: このボタンをクリックすると、デジタル的にズームアウトします。
	スライドショー再生: このボタンをクリックすると、スライドショーモードが開始されます。		停止: スライドショーを停止するには、このボタンをクリックします。
	再生速度:スライドショーの再生速度。		

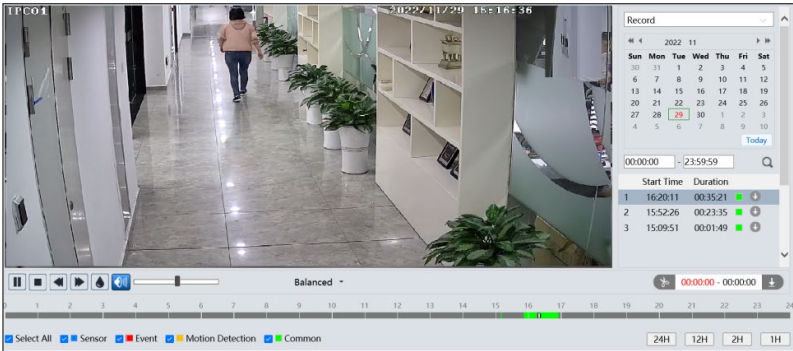
4.2 画像検索




「検索」をクリックすると、下図のようなインターフェースが表示されます。SD カードに録画された動画はこのインターフェースで再生できます。



1. 「録画」を選択します。
2. 検索時間の設定: 日付を選択し、開始時刻と終了時刻を選択します。
3. クリックし  画像を検索します。



4. インターフェースの下部にあるアラームイベントを選択します。
5. リスト内のファイル名をダブルクリックして再生を開始します。







アイコン	説明	アイコン	説明
	再生ボタン。ビデオを一時停止した後、このボタンをクリックすると再生が続きます。		一時停止ボタン
	停止ボタン		スピードダウン
	スピードアップ		ウォーターマーク表示
	有効/無効にします。オーディオを有効にした後、スライダーをドラッグして音量を調整します。		

メモ：  プラグイン不要のブラウザでは上記のインターフェースに表示できません。 
 また、プラグイン不要の再生では、再生モードの切り替え（バランス/リアルタイム/フルエントモード）やダウンロード機能もサポートされていません。

時間表は、対応するボタンをクリックすることで、24 時間／12 時間／2 時間／1 時間形式で表示できます。

ビデオクリップとダウンロード

1. 上記の手順に従ってビデオファイルを検索します。
2. タイムテーブルをクリックして開始時刻を選択します。
3. クリックして  開始時刻を設定すると、このボタンが青色 () に変わります。
4. タイムテーブルをクリックして終了時刻を選択します。その後、クリックして  終了時刻を設定します。
5. クリックする  とビデオファイルが PC にダウンロードされます。

Index	Process	Record Type	Start Time	End Time	Path	Operate
1	MP4	Motion Detection	2022-10-13 11:00:31	2022-10-13 11:00:48	Record	<input type="button" value="Cancel"/>

Setting C:\Program Files\NetIPCamera\Record

「設定」をクリックして、ビデオファイルの保存ディレクトリを設定します。

「開く」をクリックしてビデオを再生します。

ダウンロードリストをクリアするには、「リストをクリア」をクリックします。

「閉じる」をクリックしてダウンロードウィンドウを閉じます。

付 録 1. トラブルシューティング

パスワードを見つけるにはどうすればいいですか？

- A: **admin** のパスワードは「セキュリティ質問の編集」機能を通じてリセットできます。ログイン画面で「パスワードを忘れた場合」をクリックし、ポップアップウィンドウで選択した質問の回答を入力します。すべての質問に正しく回答すると、**admin** のパスワードをリセットできます。質問の答えを忘れた場合はこの方法は無効となるため、販売店にお問い合わせください。
- B: その他のユーザーのパスワードは、**admin** によってリセットすることができます。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できません。

- A: ネットワークが正常に接続されていません。接続状況を確認し、正しく接続されていることを確認してください。
- B: IP アドレスが使用できません。IP アドレスを再設定してください。
- C: Web ポート番号が変更されています。正しいポート番号については管理者にお問い合わせください。
- D: 上記の原因に該当しない場合は、IP-Tool を使用して初期設定に復元してください。

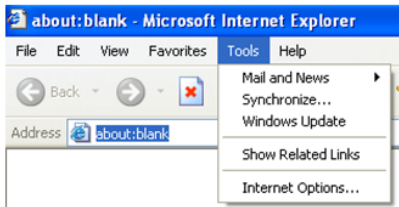
IP ツールはデバイスを検索できません。

お使いのコンピュータにインストールされているウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。ウイルス対策ソフトウェアを終了し、再度デバイスの検索をお試しください。

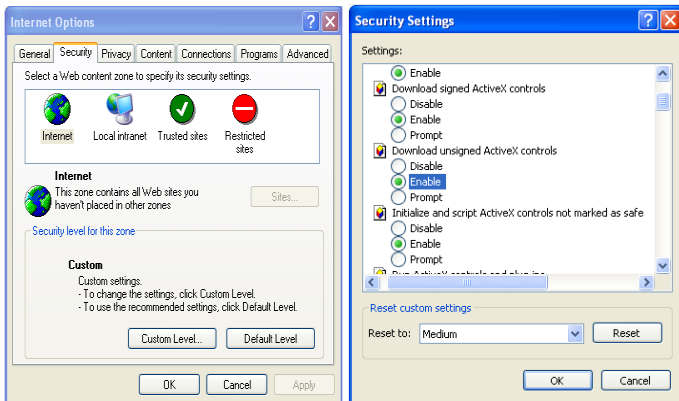
IE は ActiveX コントロールをダウンロードできません。

IE ブラウザが ActiveX をブロックするように設定されている可能性があります。以下の手順に従ってください。

- ① IE ブラウザを開き、「ツール」-----「インターネットオプション」をクリックします。



- ②セキュリティ-----カスタムレベルを選択します。
 - ③「ActiveX コントロールとプラグイン」のオプションをすべて有効にします。
 - ④「OK」をクリックしてセットアップを完了します。
- B.他のプラグインやウイルス対策ソフトが ActiveX をブロックしています。アンインストールするか、閉じてください。

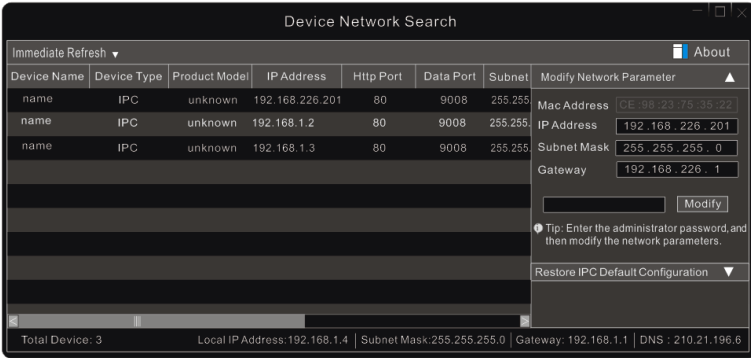


音が聞こえません。

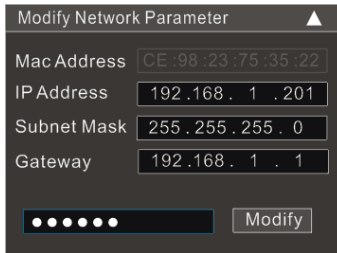
- A : オーディオ入力デバイスが接続されていません。接続してもう一度お試しください。
- B: 該当チャンネルでオーディオ機能が有効になっていません。この機能を有効にしてください。

IP-Tool を通じて IP アドレスを変更するにはどうすればいいですか？

- A: IP ツールをインストールした後、以下のように実行します。



このカメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.226.201 です。上記の表に記載されているカメラの情報をクリックすると、右側にネットワーク情報が表示されます。カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更し、ネットワークアドレスがコンピューターのローカルネットワークと同じセグメントにあることを確認してください。実際の状況に応じて、デバイスの IP アドレスを変更してください。



例えば、お使いのパソコンの IP アドレスが 192.168.1.4 の場合、カメラの IP アドレスは 192.168.1.X に変更されます。変更後、デバイスアクティベーションインターフェイスで事前に設定した「admin」のパスワードを入力し、「変更」ボタンをクリックしてネットワークパラメータを変更します。

IP-Tool を使用して工場出荷時の設定に復元するにはどうすればよいですか？

A : デバイスリスト下部のスライダーを右にドラッグすると、検索されたデバイスの MAC アドレスが表示されます。工場出荷時の設定に復元したい IPC の MAC アドレスを探し、「IPC のデフォルト設定を復元」の横にある▼をクリックしてメニューを展開し、MAC アドレスを入力して「OK」をクリックします。その後、30 秒以内にカメラを手動で再起動してください。これでカメラは工場出荷時の設定に正常に復元されます。

The screenshot shows a window titled "Device Network Search" with a table of discovered devices and a configuration panel on the right. The table has columns for Device Name, Device Type, Product Model, IP Address, Http Port, Data Port, and Subnet. The configuration panel includes fields for Mac Address, IP Address, Subnet Mask, and Gateway, along with a "Modify" button and a "Restore IPC Default Configuration" button with a dropdown arrow. A status bar at the bottom shows "Total Device: 3" and network parameters: "Local IP Address: 192.168.1.4 | Subnet Mask: 255.255.255.0 | Gateway: 192.168.1.1 | DNS : 210.21.196.6".

Device Name	Device Type	Product Model	IP Address	Http Port	Data Port	Subnet
name	IPC	unknown	192.168.226.201	80	9008	255.255
name	IPC	unknown	192.168.1.2	80	9008	255.255
name	IPC	unknown	192.168.1.3	80	9008	255.255

Modify Network Parameter

Mac Address: GE:98:23:76:35:22

IP Address: 192.168.226.201

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.226.1

Modify

Tip: Enter the administrator password, and then modify the network parameters.

Restore IPC Default Configuration

Total Device: 3 | Local IP Address: 192.168.1.4 | Subnet Mask: 255.255.255.0 | Gateway: 192.168.1.1 | DNS : 210.21.196.6